



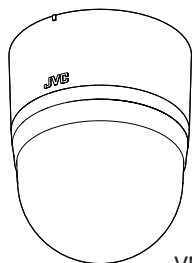
HD ネットワークコンビネーションカメラ

屋外 HD ネットワークコンビネーションカメラ

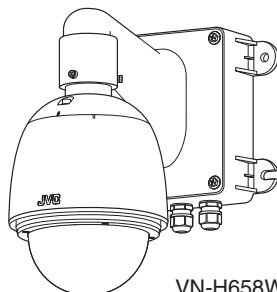
型名 **VN-H658**

取扱説明書（設定編）

VN-H658WP



VN-H658



VN-H658WP

モバイルユーザーガイド

スマートフォン、タブレット、パソコンに標準搭載のブラウザでも設置や設定方法について閲覧することができます。

<https://manual3.jvckenwood.com/jkpi/manual/jp/>



お買い上げありがとうございます。

ご使用前に「取扱説明書」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。特に別冊の「取扱説明書（設置編）」の「安全上のご注意」は、必ずお読みいただき安全にお使いください。

この取扱説明書の見かた

■ 本文中の記号の見かた


- ご注意 : 操作上の注意が書かれています。
メモ : 機能や使用上の制限など、参考になる内容が書かれています。
P. : 参考ページを示しています。

■ 本書記載内容について

- 最新の取扱説明書やファームウェアは、ホームページの各種ダウンロードにてご確認ください。
ホームページ:
<https://www.jvc.com/jp/pro/support/>
- 本書の著作権は弊社に帰属します。本書の一部、または全部を弊社に無断で転載、複製などを行うことは禁じられています。
- Windows、Windows Media Player、Microsoft Edge は米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。
- Intel Core は、米国およびその他の国における Intel Corporation の商標です。
- QR コードは(株)デンソーウェーブの登録商標です。
- 本書に記載されている他社製品名は、一般に各社の商標、または登録商標です。本書では™、®、©などのマークは省略してあります。
- 本書に記載されたデザイン、仕様、その他の内容については、改善のため予告なく変更することがあります。
- 本書で使われている画面は、実際のものとは異なる場合があります。
- 画像例は、VN-H658 で説明しています。
- microSD カードは、「SD カード」として説明しているところがあります。

■ 取扱説明書の構成

本機の取扱説明書は、次の構成になっています。

名称	内容
取扱説明書(設定編)(PDF版)	本機の運用に必要な設定・操作方法について説明しています。
取扱説明書(設置編)	本機の設置・接続方法について説明しています。取扱説明書(設置編)は、製品に添付されています。
モバイルユーザーガイド	取扱説明書(設置編)と取扱説明書(設定編)の内容をスマートフォン、タブレット、パソコンなどで閲覧できます。 

もくじ

はじめに

この取扱説明書の見かた	2
もくじ	3
正しくお使いいただくためのご注意	4

接続

接続	9
動作環境	9
ネットワークについて	9
映像確認の準備	11
IP アドレス(工場出荷値)	11
パソコン接続および映像確認の準備	11

ビューワー

ビューワー	12
-------------	----

設定

設定	18
カメラ	19
エンコード	19
エンコーダーで設定できるフレームサイズの組み合わせ表	22
露光設定	30
デイナイト切り替え設定	33
ホワイトバランス	35
プライバシーマスク	36
PTZ	38
オートパトロール 0/1/2	38
オートリターン	39
その他 PTZ 設定	40
ネットワーク	41
ネットワーク	41
ネットワーク (IPv6)	43
ネットワーク (802.1x)	44
HTTP/RTSP サービス	46
マルチキャスト	48
アクセス制限	50
UPnP	51
SNMP	52
ONVIF	53

検出設定	54
動き検出	54
妨害検出	56
異音検出	57
アラーム入力	59
ネットワーク障害検出	61
イベント設定	62
イベント	62
FTP 記録	77
メール設定	79
SD カード記録	80
SD カード記録データ	83
HTTP 通知	84
TCP 通知	85
UDP 通知	86
音声再生	87
システム	88
システム情報	88
ユーザー	90
時刻	92
音声	93
メンテナンス	95
その他	97
動作状況	98
機器情報	99
システムログ	100

その他

こんなときは	101
--------------	-----

正しくお使いいただくためのご注意

この「正しくお使いいただくためのご注意」は当社製セキュリティカメラ全般についての内容を記載しています。

お客様がお買い上げのカメラによっては、記載されている機能が搭載されていない場合や機能名が異なる場合があります。

● 電波障害について

この装置は、クラス A 機器です。この装置を住宅環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。

この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

VCCI-A

● 製品セキュリティに関するご注意

弊社では「製品セキュリティに関する基本方針」を定め、製品の安全性の確保に努めています。この「製品セキュリティに関するご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

製品セキュリティに関する基本方針は、下記 URL をご覧ください。

https://www.jvckenwood.com/jp/product_security.html

● 情報セキュリティに関するご注意

● 本機は、電気通信事業者（移動通信会社、固定通信会社、インターネットプロバイダー等）の通信回線（公衆無線 LAN を含む）に直接接続することができません。

● 工場出荷時のユーザー名とパスワードは広く公開されているため、変更せずに使用していると大変危険です。容易に推測されない文字と数字を組み合わせたユーザー名とパスワードに設定してください。また、パスワードは定期的に変更してください。

● 保管および使用場所について

- VN-H658 は、屋内用カメラです。屋外での使用はできません。
- 下記のような場所には置かないでください。
 - スポットライトなど、高温になる照明器具に近いところ
 - 厨房など蒸気や油分の多いところ
 - 使用周囲温度範囲外の暑いところや寒いところ

- エアコンの吹き出し口近くなど直接冷気の当たるところ
 - 火口や温泉場、トンネルの中など腐食性のガスが発生するところ
 - 可燃性のガスを使用するところ
 - 放射線や X 線を発生するところ
 - 変圧器やモーターなど強い磁気が発生するところ
 - トランシーバーや携帯電話など電波を発生する機器に近いところ
 - 振動、衝撃のあるところ
 - ほこりや砂の多いところ
 - 窓ざわなど水滴の発生しやすいところ
 - 明滅をする光源があるところ
 - プールなど薬剤を使用するところ
 - 海岸付近など潮風による塩害の発生が予想されるところ
 - 直射日光が映るところ
 - 雨や湿気にさらされるところで保管しないでください。屋内用カメラは雨や湿気にさらされるところでは使用できません。屋外で使用する場合は、ハウジングなどを使用してください。
 - カメラを寒い場所から暖かい室内などへ移動したときに、結露が発生し、動作しない場合があります。この場合は室温にしばらく放置して結露が取れてから、電源を入れてください。
 - 防塵・防水性能 IP66 に対応とは、どのような環境下でも浸水しないことを保証しているものではありません。
 - 本機および本機に接続したケーブルが強い電波や磁気が発生するところ（例、ラジオ、テレビ、変圧器、モニターなどの近く）で使用された場合、画像にノイズが入ったり、色彩が変わることがあります。
- ### ● 設置・設定時のご注意
- 本機の設置は、高所での作業を伴います。設置工事は必ず販売店または専門の工事店にご依頼ください。
 - 設置作業は、けがや事故を防止するため、ヘルメット、安全靴や手袋、保護めがねを着用するなど、設置に適した服装で行なってください。
 - すべての工事・配線が完了したら、電源を入れる前にもう一度、すべての結線・配線・コネクタが確実に接続できているか、また、極性、配線間違いがないか確かめてください。予期せぬ事故を未然に防げます。
 - 本体落下防止ワイヤーは、必ず確実に取り付けてください。取り付け後は、ボルトやナット、ねじなどの緩みなどが無いことを必ず確認してください。

- 本機を取り付ける天井、壁面などは、本機の荷重に十分耐えられる場所を選び、確実に取り付けられる方法(ねじ、ボルト、ナット、アンカーボルトなど)を選んでください。
- 本機で SD カードへ記録中に、万一、電源が切れると、停電前 1 分ほどの録画映像と録画音声が消し、破壊することがあります。録画録音する場合は、給電機器を無停電電源装置(UPS)によって停電保護された電源に接続してください。
- 設置時は、必ず電源を切った状態で行なってください。機器の故障や誤動作の原因となることがあります。
- 各種ケーブルは、次のことに注意して接続してください。VN-H658WP の場合、防水処理を必ず実施してください。
 - ・無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったりしない
 - ・ケーブルの上に機器本体や重いものをのせない
 - ・機器本体やフロントパネルなどに挟み込まない
 - ・熱器具に近づけない
- お手入れについて
 - お手入れは、電源を切ってから行なってください。
 - カメラ外装の汚れは乾いた柔らかい布などでふき取ってください。汚れがひどい場合は、中性洗剤を水で薄めてふき、あとでからがきしてください。また、シンナーやベンジンなどでふかないでください。表面が溶けたり、くもったりします。
- 輸送について
 - カメラの入っていた箱は捨てずに取っておき、輸送する場合はその箱を使用してください。
 - 輸送時の衝撃に耐えるため補助テープで固定しているカメラもあります。カメラの故障防止のため可能な限り元の梱包状態に戻してから輸送することをおすすめします。
 - パン/チルト機構部が非常に回転しやすい構造のため、輸送時はドームカバー内部のパン/チルト機構部が回転しないようにレンズを水平に向け、レンズ部をテープで固定してから輸送してください。カメラ動作に不具合が発生する場合があります。
- 省エネについて
 - 長時間使用しない場合は、安全および節電のため電源を切ってください。
- 電源について
 - すべての結線が終了してから本機の電源を入れてください。接続コードの抜き差しは電源を切ってから行なってください。
- 時計機能について
 - カメラは電源を供給しない状態で放置されると時刻が初期化されます。初めてお使いになる場合や、時刻が初期化された場合は、時刻の設定を行なってください。時刻を設定しなかった場合、ログ、SD カード記録およびメール送信の時刻情報などが正しく表示されません。
 - 時刻サーバー(SNTP サーバーや NTP サーバーなど)を使用して自動的に時刻合わせを行う機能を搭載したカメラの場合、より正確な時刻で記録するために、時刻サーバーのご使用をおすすめします。
- SD カードについて
 - SD カードは寿命のあるデバイスのため長期間の使用はおすすめできません。保存データの消失・破壊による損害に対する責任は一切負いません。大切なデータはバックアップをお願いします。
 - SD カードは下記の条件などによって保存データを消失・破壊することがあります。
 - ・ SD カードに電氣的・物理的なショックを与えた場合
 - ・ データのアクセス中に SD カードを取り出したり機器の電源を切ったりした場合
 - ・ SD カードが寿命となった場合
- 映像の再生について
 - 本機のビューワーの録画ボタンと SD カード記録で録画した映像については、オペレーティングシステムごとに下記のプレーヤーで再生を確認しています。
 - ・ Windows Media Player(バージョン:12)
 - ・ H.265 で録画した映像については、別途ライセンス費用が必要です。
 - ・ JPEG で録画した映像については、別途 Motion JPEG 用のコーデックをインストールする必要があります。

はじめに

● フォーカスについて

- 高倍率レンズを使用しているカメラの場合、温度変化によってフォーカスがずれることがありますが故障ではありません。
- フォーカスを合わせる場合は、実際に使用する環境の温度に近い状態で行うことをおすすめします。
- 使用中の温度変化によってフォーカスがずれる場合は、オートフォーカス機能を使用するか、フォーカスを取り直して使用してください。
- オートフォーカス機能はカメラの設定、被写体や光源の状態によっては、フォーカスを合わせられない場合があります。この場合はマニュアルで合わせてください。
- オートフォーカスで合わせにくい被写体
 - 輝度が極端に高い(明るい)被写体
 - 輝度が極端に低い(暗い)被写体
 - 輝度が常に変化している被写体(点滅するライトなど)
 - コントラスト(明暗差)がほとんどない被写体
 - 繰り返しの縦縞パターンがある被写体
 - 動きのある被写体
- オートフォーカスで合わせにくい設定
 - AGC で感度アップし画面がザラついている
 - 電子感度アップで画面の動きが少ない
 - 電子ズーム中で十分な輪郭成分が少ない

● ズーム動作について

- 下記の現象は内蔵レンズの性能によるもので故障ではありません。
 - マニュアル動作やプリセット選択などによるズーム動作が止まったあとに、フォーカスが動く
 - マニュアル動作中のズーム動作が滑らかでない
 - プリセット選択を行なったときのズーム動作中に瞬間的にフォーカスがずれる

● 音声入出力について

- PTZ カメラの回転機構や電動レンズの動作時、電源 ON/OFF 時、SD カード動作時に雑音が発生する場合がありますが、故障ではありません。
- マイクゲインの設定値が高い場合、音声に雑音が目立つことがあります。これは故障ではありません。

● 免責について

- 設置説明に従わない不完全な取り付けによってカメラが落下した場合、発生した不便や障害に対する責任は一切負いません。
- CMOS 撮像素子を使用したローリングシャッター方式のカメラは、PTZ カメラや旋回台に搭載するときなどのカメラが動く撮影や動く被写体を撮影する場合に、建物の柱や被写体がゆがみ、実際とは違う映像が出力されますが、撮像素子の特性によるもので故障ではありません。
- カメラの映像や音声によりプライバシー侵害などが発生した場合、万一発生した不便や障害に対する責任は一切負いません。
- 動き検出、妨害検出、異音検出、アラーム入出力などのカメラの機能は、盗難、火災などを防止する機能ではありません。万一発生した不便や障害に対する責任は一切負いません。
- 弊社はいかなる場合も次の事項に関して一切の責任を負わないものとします。

- 1 本システムに関して直接または間接に発生した、偶発的、特殊、または結果的損害・被害。
- 2 お客様の誤使用や不注意による障害または本システムの破損など。
- 3 お客様による本システムの分解、修理または改造が行われたことによる損害・被害。
- 4 本システムの故障・不具合以外の何らかの理由または原因により、映像が表示できないことによる不便・損害・被害。
- 5 第三者の機器などと組み合わせた拡張システム等による不具合、あるいはその結果被る不便・損害・被害。
- 6 お客様による監視映像(記録を含む)が何らかの理由により公となり、または監視目的以外に使用され、その結果、被写体となった個人または団体などによるプライバシー侵害などを理由とするいかなる賠償請求、クレームなど。
- 7 記録または登録した情報内容が何らかの原因により、消失してしまうこと。

● 本機で記録した映像(音声)の個人情報の保護について

- 本機で撮影(録音)された映像(音声)には個人を特定できる情報が含まれている可能性があります。映像(音声)のインターネットなどでの公開は第三者のプライバシー権や肖像権の侵害や、個人情報保護法へ抵触する場合がありますので、十分に取り扱いにご注意ください。

● その他

- 大切な撮影の場合は、必ず事前に動作確認を行なってください。
- 太陽や明るいライトなどの非常に強い光源にレンズを向けないでください。故障の原因となります。
- 強い降雨や降雪の場合、霧が発生している場合などの環境条件によっては映像が不鮮明になることがあります。
- 落雷などにより電源電圧が変動した場合、動作が不安定になったり、故障したりすることがあります。
- 機器設置などで入出力端子に触れる際にはあらかじめ静電気を除去したあと、作業を行なってください。
- 強い光源、ハロゲンランプ、電球などの赤外線成分が強い光源では黒色の被写体が紫に近い色に映ることがありますが、レンズの特性によるもので故障ではありません。
- 動きのある被写体で残像が見える場合がありますが、故障ではありません。
- 商用電源周波数 50 Hz の地域では、蛍光灯照明下(インバーター照明器は除く)のちらつき(フリッカー)を軽減するため、露光設定を"フリッカーレス"や"フリッカー軽減"などに設定してご使用ください。"フリッカーレス"などに設定しても、非常に明るい照明環境下では、フリッカーが発生することがあります。
- ワイド側で撮影すると画面の四隅にケラレ(黒)が発生する場合がありますが故障ではありません。
- ご使用になるレンズや被写体によっては逆光の明るい部分や強い光源が内面で反射して画像に映り込むこと(ゴースト)がありますが故障ではありません。画角を調整することで改善することがあります。
- ご使用になるレンズや被写体によっては明暗の差が大きい被写体(蛍光灯など)を撮影した場合、明暗の境目が紫色になること(パープルフリッジ)がありますが、これはレンズの特性によるもので故障ではありません。画角の調整や映像(カラーレベル、ブライトネス)の調整をすることで改善することがあります。

- AGC や電子感度アップを大きく設定し暗い被写体を撮影すると、ランダムノイズやカラーノイズが発生したり、動きのある映像が見えなくなる場合がありますが、撮像素子の特性によるもので故障ではありません。
- PTZ カメラをテレ側で撮影する場合、パンやチルトの動作を行うと画面が振動して見える(回転動作が滑らかでない)ことがあります。この現象はモーター性能によるもので故障ではありません。
- PTZ カメラやファン内蔵カメラなどの場合に、モーターの動作音が聞こえることがあります。故障ではありません。
- PTZ カメラは必ず正しい向きでカメラ部が水平になるように設置してください。カメラの上下を逆さまにしたり、カメラ部を傾けて使用すると正しく動作しません。

● その他(共通のご注意)

- 本機の放熱が不十分になると故障の原因となります。本機周辺の通風を妨げないようにしてください。
- 本機は電源投入後、ズーム/フォーカスの初期動作を行います。初期動作が完了するまでに 1 分~2 分程度かかりますが、故障ではありません。
- ズームのワイド側で画面の四隅が暗くなる場合があります。その時は少しテレ側にすると解消します。
- AGC が動作中、トランシーバーなど強い電波を発生する機器を本機の近くで使用すると、映像にビートなど発生することがあります。トランシーバーなどを使用する場合は、本機から 3 m 以上はなれて使用してください。
- 本機をホワイトバランス「ATW-Narrow」、「ATW-Wide」、「ATW-Full」(自動調整)で使用したとき、自動色温度追尾ホワイトバランス回路の原理上、実際の色と多少色合いが異なることがありますが、故障ではありません。
- 高温時、急激な温度変化によってドームカバーがくもることがあります。
- 外来の雑音などによって、アラーム信号ケーブルの長さが 50 m 以下でもアラームが誤動作を起こす場合があります。その場合は、雑音源からケーブルを遠ざけるなどの処置を行なってください。
- マルチキャストを使用する場合は、IGMPv2 に準拠したネットワークスイッチを使用してください。

はじめに

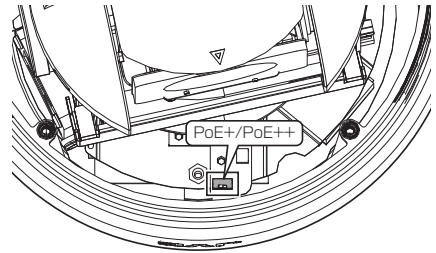
- インテリジェント機能搭載のスイッチングハブの一部機種においては、ブロードキャストまたはマルチキャストの抑制機能が付いています。その機能が有効な場合、本機のマルチキャスト画像が正常に閲覧できない場合があります。
- ドームカバーは樹脂製です。破損しないよう、取り扱いにご注意ください。
- 落雷やエアコンの電源投入などによって電源電圧が瞬間的に断たれる、または低下した場合、映像が乱れたりノイズが混入したりすることがあります。
- ビューワーで視聴時に音声がずれる場合がありますが、故障ではありません。
- 3次元ノイズリダクション使用時は、原理上、動きのある被写体で残像が生じることがあります。故障ではありません。
- 設置・接続工事終了後、プリセットポジションを設定する前に必ず本機を再起動してください。
- 長期間同じポジションを監視する場合、水平回転部の接点抵抗の増加によって映像にノイズが発生したり、パソコンからの操作が不安定になることが考えられます。そのため定期的にクリーニングを行うオートクリーニング機能を使用することをお勧めします。

● その他(VN-H658WP 特有のご注意)

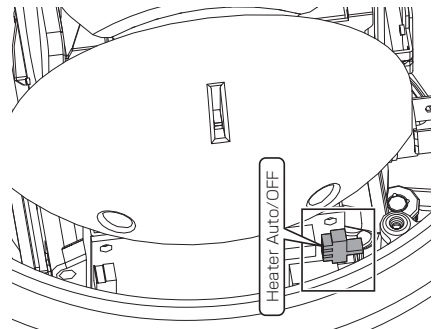
- 本機を暖かい場所から寒い場所へ移動するような急激な温度変化によっては、ドームカバー内側に結露が発生する場合があります。この場合は、しばらく放置して結露が取れてから電源を入れてください。
- PoE++電源使用時はヒーターが作動します。-10℃以下では、PoE++または AC24V 電源を使用してください。
- ヒーター使用時、本機の動作周囲温度は-40℃～55℃ですが、起動温度は-30℃以上です。-30℃を下回る環境では起動できません。
- 本機を低温(-30℃～-10℃)の環境下で電源を入れた場合、内蔵のヒーターによって内部が温まるまでのあいだ(最長 1 時間)は、本機にアクセスできません。低温環境下では常時、通電して使用することをおすすめします。

- PoE+でご使用になる場合は PoE 切り替えスイッチを「PoE+」にしたうえで、ヒータースイッチを「OFF」にして使ってください。このときヒーターは OFF になるため、周囲温度 0℃以上でご使用ください。また、PoE+の場合はプリセットポジション移動スピードの設定は「中速」以下でご使用ください。

PoE 切り替えスイッチの場所



ヒータースイッチの場所



- 周囲温度が仕様の範囲内であっても強風の中の降雪などにより、ドームカバー表面やカメラ本体に厚く積雪や氷が付着し解凍できなくなることがあります。このとき、映像が見えなくなるなどの症状が発生することがあります。凍結の恐れがある場所に設置する場合はご注意ください。

接続

動作環境

下記の表は本機の使用に必要な最低限の動作環境を示しています。この環境を満たすハードウェアやソフトウェアの使用をおすすめします。

システムハードウェア	
CPU	Intel Core i7 3.40 GHz 以上
RAM	8 GB 以上
ディスプレイ	1920x1080 ピクセル以上、True Color (24 bit/32 bit)
システムソフトウェア	
オペレーティングシステム	Windows 10 Pro (64 bit)、Windows 11 Pro (64 bit)
ブラウザ	Microsoft Edge (バージョン 94.0.992.50 以降)
電源	
電源	AC24 V / PoE+ (IEEE802.3at Type2) / PoE++ (IEEE802.3bt Type3)
ネットワーク	
有線	10BASE-T/100BASE-TX イーサネット (RJ-45 コネクタ)
映像の再生	
本機のビューワーの録画ボタンと SD カード記録で録画した映像については、オペレーティングシステムごとに下記のプレーヤーで再生を確認しています。	
<ul style="list-style-type: none"> Windows Media Player (バージョン: 12) 	

ご注意:

- PoE ++ をご使用になる場合は、PoE ++ ネットワークの接続にルーターや異種の機器を使わないでください。(VN-H658WP のみ)
- H.265 で保存された動画ファイルを再生する場合、「HEVC ビデオ拡張機能」が必要です。お使いのパソコンに「HEVC ビデオ拡張機能」がインストールされていない場合、別途費用が必要です。

メモ:

- ディスプレイのリフレッシュレートは 60 Hz 以上で使用してください。
60 Hz に満たない場合、ビューワーで表示中の映像の動きの滑らかさが失われることがあります。

ネットワークについて

- 本機が送信するデータ量に対して十分なネットワーク帯域を確保してください。また、帯域を超えるマルチキャストストリームを流さないでください。マルチキャストストリームによって帯域が専有されると、ネットワーク経由で本機を制御できなくなる場合があります。
- 本機が送信するデータ量は設定や配信数によって異なります。
- 送信できるビットレートの上限は 40 Mbps 未満です。
- 最大 20 クライアントまで同時配信可能です。

● フレームレートとフレームサイズ

本機は最大 4 チャンネルの同時エンコードが可能ですが、設定可能なフレームサイズとフレームレートの組み合わせに制約があります。組み合わせの制約について詳しくは、「取扱説明書(設定編)」の[設定]-[カメラ]-[エンコーダーで設定できるフレームサイズの組み合わせ表]をご覧ください。

● JPEG のファイルサイズ

本機の JPEG エンコーダーは、JPEG の画質設定に合わせてエンコード時の量子化テーブルを一定に保つため、ファイルサイズはエンコードの設定だけでなく、カメラ映像に応じても増減します。設定できるファイルサイズについては、「取扱説明書(設定編)」の[設定]-[カメラ]-[エンコード]-[JPEG 設定時の画質とフレームサイズごとのファイルサイズの目安]をご参照ください。

● H.264/H.265 ストリームのビットレート

H.264/H.265 ストリームのビットレート方式は、VBR(可変ビットレート)または CBR(固定ビットレート)のいずれかの方式を選択できます。VBR 方式はカメラ映像の状況に応じてビットレートが変化します。VBR 方式の場合、画質は安定しますが、ビットレートの予測が困難です。CBR 方式はカメラ映像の状況に関係なく、一定のビットレートでエンコードします。CBR 方式の場合、画質が変化しますがビットレートの予測が容易です。VBR、CBR とともに、目安としてのビットレートを設定できます。

● 音声のデータ量

受信する音声データのストリーミング本数は最大で 1 本です。圧縮方式を G.711 に設定したとき、1 本あたり 64 kbps です。音声のデータ量は次の式で計算できます。(AAC の場合は 96kbps)

$$64 \text{ kbps} \times \text{本数}$$

ストリーミング本数は TCP で送信している本数(クライアントの数)、マルチキャストで送信している本数、および受信している本数を合計したものです。例えば本機が 2 本の音声を送信し、1 本の音声を受信している場合、データ量は次のようになります。

$$64 \text{ kbps} \times 3 = 192 \text{ kbps}$$

● ネットワーク帯域が不足した場合

帯域が不足するとクライアントで取得できる JPEG の枚数(フレームレート)が少なくなります。また、映像配信が遅延します。H.264/H.265 の場合、ノイズが入り映像を表示できなくなることがあります。

● ネットワークの遅延

クライアントが JPEG を TCP で取得する場合には、クライアントからの ACK を確認しつつ本機は送信します。遅延が大きいネットワークでは ACK を受信するまで送信できないため、フレームレートが低下します。H.264/H.265 の場合、ノイズが入り映像を表示できなくなることがあります。マルチキャストで受信すれば、ネットワークの遅延によるフレームレート低下はなくなります。

● ネットワークのジッター

ネットワークのジッターが大きいと、遅延時間の増大、映像のフレームレートの低下が起こります。H.264/H.265 の場合は、ノイズが入り映像を表示できなくなることがあります。

● パケットロス

本機から TCP で映像を取得する場合は、パケットロスが TCP の再送によってリカバリーされます。ただし再送による遅延が大きい場合には、データが欠落し、映像のフレームレート低下が起こります。H.264/H.265 の場合は、ノイズが入り映像を表示できなくなることがあります。本機からのマルチキャスト送信でパケットロスが起こった場合は、映像のフレームレート低下が起こります。H.264/H.265 の場合は、ノイズが入り映像を表示できなくなることがあります。

● 映像の滑らかさについて

フレームサイズが 1920x1080、フレームレートが 60fps のとき、ビューワーの映像が滑らかに表示されない場合があります。このとき、記録映像には影響ありません。

● 使用するプロトコル、ポート番号一覧

本機では下記のプロトコル、ポート番号を使用します。ファイアウォールを設置する場合にはこれらのポートを通過させてください。

受信ポート

プロトコル/ ポート番号	用途
TCP/21	FTP: SD カードへのアクセス
TCP/80	HTTP: ライブ映像音声の取得、カメラ設定、API、ONVIF
TCP/443	HTTPS: ライブ映像音声の取得、カメラ設定
TCP/554	RTSP: 映像音声配信制御
TCP/49152	UPnP: ユニバーサルプラグアンドプレイ
UDP/1900	UPnP: ユニバーサルプラグアンドプレイ
UDP/3702	ONVIF: カメラ検索
UDP/53152	映像マルチキャスト: レシーバーレポート
UDP/53162	音声マルチキャスト: レシーバーレポート

送信ポート

プロトコル/ ポート番号	用途
TCP,UDP/ユーザー定義	TCP,UDP 通知、メール送信
TCP21	FTP: 静止画の保存
TCP/80	HTTP: HTTP 通知
UDP/53	DNS: 名前解決
UDP/	DHCP: IP アドレス自動設定
UDP/80	HTTP: API (カメラ検索)
UDP/123	SNTP: 時刻同期
UDP/161	SNMP: 遠隔監視

● 運用プロトコルについて

ONVIF について

本機は、ONVIF (Open Network Video Interface Forum) に対応しています。ONVIF は、監視機器のネットワークプロトコルを標準化している団体です。ONVIF では、監視機器を発見するプロトコル、監視機器の設定を取得・変更するプロトコル、映像音声データを送受信するプロトコルなどが標準化されています。また、本機は ONVIF Profile S、Profile T を満たしています。

映像確認の準備

本機が撮影する映像は複数のブラウザで確認することが可能です。映像の確認には、下記の手順で表示を有効にすることが必要です。

1 Cookie を有効にしてください。

- Microsoft Edge で、「…」-[設定(⚙️)]をクリックし、表示されたメニューにある **Cookie とサイトのアクセス許可** をクリックしてください。
- **Cookie とサイトデータの管理と削除** を開き、「Cookie データの保存と読み取りをサイトに許可する (推奨)」をチェックし、「サードパーティの Cookie をブロックする」のチェックをはずしてください。

2 プロキシサーバーを使用する場合は、プロキシサーバーの設定を行ってください。

IP アドレス(工場出荷値)

本機はネットワーク接続を前提としていますので、IP アドレスを最初に割り当てる必要があります。本機の IP アドレスは初期設定で **192.168.0.2**、またサブネットマスクは **255.255.255.0** となっています。ご使用のネットワーク環境に合わせ、IP アドレス/サブネットマスクを変更してください。なお、DHCP サーバーから自動的に IP アドレスを割り当てる運用の場合には、「ネットワーク」の「IP 設定」で「DHCP」を選択してください。

パソコン接続および映像確認の準備

この手順の説明は、下記的环境で行なっています。
オペレーティングシステム: Windows 10 Pro (64 bit)、Windows 11 Pro (64 bit)
ブラウザ: Microsoft Edge

● パソコンへの接続

- 1 本機とパソコンが同一のサブネットにあることを確認してください。
- 2 デフォルトの IP アドレスを使って本機とパソコンがネットワーク接続されていることを確認してください。
 - 「コマンドプロンプト」を起動します。
“ping 192.168.0.2”と入力し、ネットワーク接続されていると、“~からの応答”というメッセージが表示されます。
- 3 **Microsoft Edge** を起動して IP アドレスに **“192.168.0.2”** を入力します。
 - ログイン画面が表示されます。別紙の「**パスワード管理と初期パスワードについて**」を参照していただき、ユーザー名とパスワードを入力してください。
 - ホームページの [各種ダウンロード] - [ソフトウェアダウンロード] から [IP 設定ツール] をダウンロードして、LAN 内の本機を検索することができます。
ホームページ:
<https://www.jvc.com/jp/pro/support/>
 - Microsoft Edge は管理者として実行してください。

このサイトにアクセスするにはサインインしてください

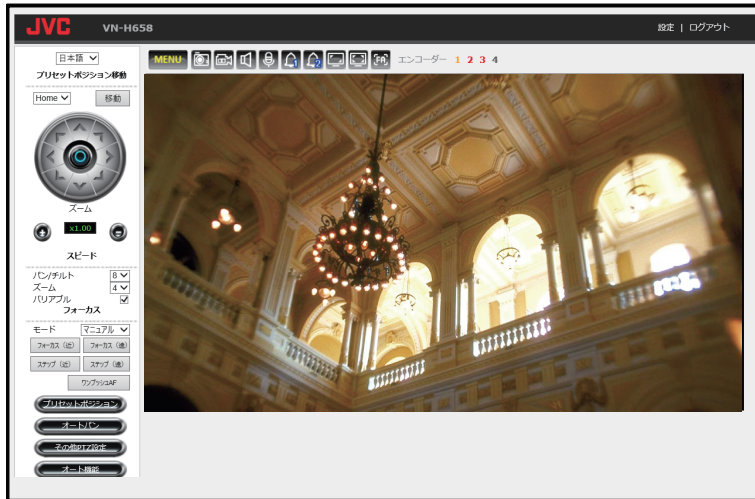
<http://192.168.0.2> では認証が必要となります
このサイトへの接続は安全ではありません

ユーザー名

パスワード

- 初期パスワードでログインすると、パスワード変更を促すメッセージが表示されます。

ビューワー

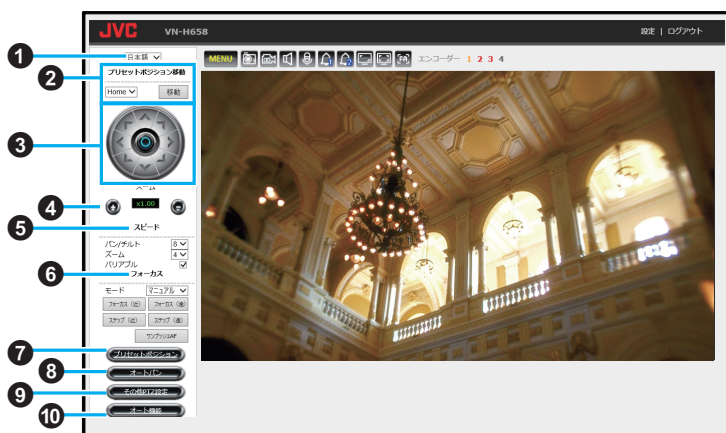


ビューワーを使用するときには Microsoft Edge を管理者として実行してください。

本機の IP アドレスにアクセスしてログインすると、上の図で示した画面が表示されます。

- 右上の[設定]をクリックすると、設定ページが表示します。
- 設定ページで[ビューワー]をクリックすると、ビューワーが表示されます。
- ビューワー画面上で左クリックすると、クリックした位置が画面中央に移動します。

操作パネル



設定値の●は工場出荷の値です。

1 言語切り替えメニュー

ビューワーおよび設定ページで表示する言語を選択します。

「設定値：English、●日本語」

2 プリセットポジション移動

「移動」ボタンをクリックすると、選択した登録済みのプリセットポジションへ移動します。

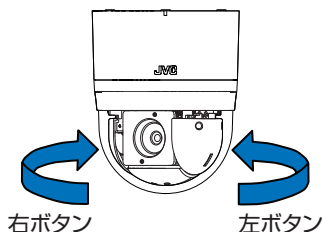
「設定値：●Home、1～255」

3 パン/チルト操作ボタン

▲▼◀▶ををクリックすると画面が上下左右に移動します。中央の○をクリックすると Home ポジションに移動します。

メモ：

- 右ボタンをクリックするとカメラを真上から見た際に時計回りの回転を行います。(ビューワー上では右方向に映像が動く)
- 左ボタンをクリックするとカメラを真上から見た際に反時計回りの回転を行います。



4 ズーム

⊕⊖をクリックするとズームイン・ズームアウトします。

⊕⊖の間には、ズーム倍率の目安が表示されます。

5 スピード

PTZ スピードを変更します。数字が大きくなるほど速くなります。

パン/チルト

「設定値：1～8 (●4)」

ズーム

「設定値：1～4 (●2)」

バリエブル

チェックが入った状態では、ズーム倍率が高いほどパン/チルトの移動スピードが遅くなり、チェックが入っていない状態ではズーム倍率に関わらず、移動スピードが一定になります。

「設定値：●チェックあり」

6 フォーカス

フォーカスモードを設定します。

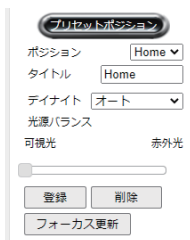
「設定値：●イージー AF、マニュアル」

マニュアルモード時は、以下のボタンが表示されます。

- 「フォーカス(近)/[遠)」ボタンをクリックしている間はフォーカスが変化し、離すと止まります。
- 「ステップ(近)/[遠)」ボタンをクリックするとフォーカスが1ステップ変化します。
- 「ワンプッシュ AF」ボタンをクリックすると、約6秒で自動的にフォーカスを合わせます。

次のページへつづく

7 プリセットポジション



プリセットポジションの位置とタイトルを設定します。

- パン・チルト・ズーム・フォーカス・デイナイト切り替え設定・光源バランスを記憶できます。

ポジション

「設定値：●Home、1～255」

タイトル

最大文字数は 28 文字までです。

- [登録] ボタンをクリックすると、ビューワーに表示されている場所が登録されます。
- [削除] ボタンをクリックすると、選択しているポジションの登録が削除されます。

デイナイト

「設定値：オート、●デイモード、ナイトモード、スケジュール、D/N 入力」

光源バランス

登録したプリセットポジションを撮影する際に映り込む光源に合わせて調整してください。

8 オートパン



オートパンを設定します。

モード

「設定値：左回り、右回り、●往復」

スピード

「設定値：低速、●中速、高速」

メモ：

- 往復モードは開始位置から右回り、戻り位置から左回りの方向で、開始位置と戻り位置の間を往復移動し続けます。ただし 2 点間の移動にパンとチルトの両方が含まれている場合は、完全に滑らかな斜め移動ができないために、開始位置から戻り位置への移動と戻り位置から開始位置への移動が同じ軌道にはなりません。

開始位置、戻り位置

オートパン動作の開始位置と戻り位置(往復モード時のみ)を設定できます。

- [登録] ボタンをクリックすると、ビューワーに表示されている場所が開始位置または戻り位置として登録されます。
- [移動] ボタンをクリックすると、登録されている開始位置または戻り位置に移動します。

9 その他 PTZ 設定



PTZ (Pan Tilt Zoom) の設定をします。

パンリミット

パンの制御範囲を設定できます。

- [左端設定] ボタンをクリックすると、ビューワーに表示されている場所がパンの制御範囲の左端として登録されます。
- [左端移動] ボタンをクリックすると、登録されているパンの制御範囲の左端に移動します。
- [右端設定] ボタンをクリックすると、ビューワーに表示されている場所がパンの制御範囲の右端として登録されます。
- [右端移動] ボタンをクリックすると、登録されているパンの制御範囲の右端に移動します。

「設定値：ON、●OFF」

メモ：

- パンの制御範囲の左端と右端を、同じ設定にした場合はパンリミットの設定が「ON」でもエンドレスパンと同じになります。

チルトリミット

チルトの制御範囲を変更することができます。

「設定値：-6～10(●0)」

オートフリップ

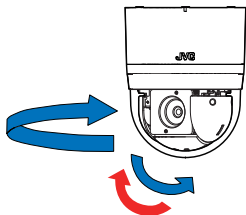
デジタルフリップ:チルトの位置を 135°未満(45°以上)から 135°以上(45°未満)にチルト操作を行うと、チルトの位置が 135°(45°)になったときに自動的に映像がフリップします。

メカニカルフリップ:チルト操作を行いチルトの位置が 90°になったときに、自動的にパンの位置が 180°回転し、チルトの移動が停止します。

OFF:チルトの制御範囲は 90°までになります。

モード

「設定値:OFF、● デジタルフリップ、メカニカルフリップ」



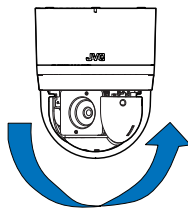
- -6°～90° :
チルト可変範囲
- 0° :水平方向
- 90° :真下

メカニカルフリップ:

チルト操作を行いチルトの位置が 90°(真下)になったときに自動でパンの位置が 180°回転してチルトの移動が停止します。

チルト位置は 90°を超えない範囲で動作しますが、90°の位置でパンが 180°回転するので、チルト位置を上げる方向に操作することで裏側の映像を見ることができます。

※図中の赤い矢印は、カメラの向きが 180°回転したあとの動作なので、実際には青い矢印の裏側で上方向に移動します。



- -6°～186° :
チルト可変範囲
- 0°/180° :水平方向
- 90° :真下

デジタルフリップ:

チルトの位置を 135°未満(45°以上)から 135°以上(45°未満)にチルト操作を行うと、チルトの位置が 135°(45°)になったときに自動的に映像がフリップします。

下げる操作で 90°に達したあとも下げる操作で 90°～-6°(186°)までチルト動作します。

メモ:

- デジタルフリップでは、チルトの位置が 135°になって映像がフリップしたあとは 45°の位置になったときに再度フリップします。45°でフリップしたあとは、135°の位置で再度フリップします。
- メカニカルフリップでは、チルト位置は 90°を超えない範囲で動作しますが、90°の位置でパンが 180°回転するので、チルト位置を上げる方向に操作することで裏側の映像を見ることができます。
- OFF に設定すると、デジタルフリップとメカニカルフリップは動作せず、チルト位置は 90°を超えない範囲で移動します。

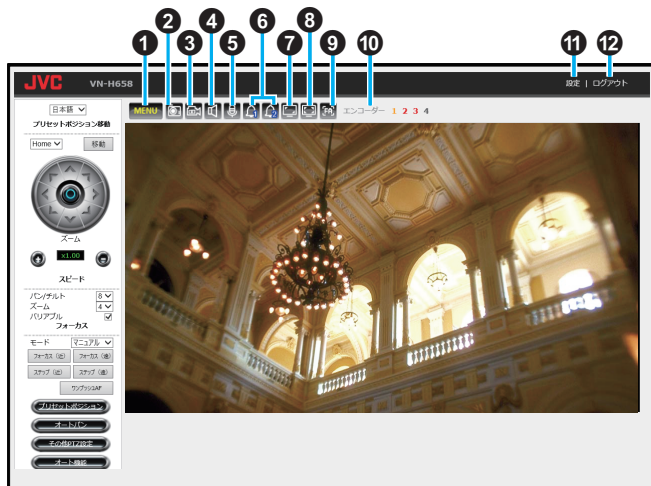
⑩ オート機能



[スタート]ボタンをクリックすると、選択した内容でオート動作を開始し、[ストップ]ボタンをクリックすると、オート動作を停止します。「設定値:● オートパン、オートパトロール 0、オートパトロール 1、オートパトロール 2」


メモ:

- オートリターンの設定がオートパトロール(オートパトロール 0/1/2)の場合、オート機能にて別の番号のオートパトロールを開始すると、ダイアログが表示されたあとにオート機能で選択したオートパトロールの番号がオートリターンの設定に反映されます。



- 1** **MENU** メニューアイコン
操作パネルと言語切り替えメニューの表示/非表示を切り替えます。
- 2** **静止画保存アイコン**
映像を静止画で1枚撮影、保存します。
 - 記録される静止画のファイル形式は JPEG です。
- 3** **録画アイコン**
映像と音声を動画として保存します。クリックするとアイコンが **録** (赤色) に変わります。停止するには再度アイコンをクリックします。
 - 記録される動画のファイル形式は mp4 です。
 - 映像と音声の同期は取っていないため、ファイル再生のときに映像と音声がずれる場合があります。
- 4** **音声受信アイコン**
音声受信を ON/OFF します。動作中はアイコンが **音** (赤色) に変わります。ON にすると本機の AUDIO IN 端子から入力された音声をパソコンから出力します。
- 5** **音声送信アイコン**
音声送信を ON/OFF します。動作中はアイコンが **音** (赤色) に変わります。
ON にするとパソコンにつないだマイクから入力された音声を本機の AUDIO OUT 端子から出力します。
本機能は HTTPS 接続でご使用ください。HTTP 接続の場合、音声出力されません。
これは Microsoft Edge のセキュリティポリシーによるもので故障ではありません。
- 6** **アラーム出力アイコン 1,2**
クリックするとアイコンが **音** (赤色) に変わり、アラーム出力端子からマイクの出力を行います。ブレイクに戻すには、再度クリックします。
- 7** **表示サイズアイコン**
クリックするとアイコンが **画** (赤色) に変わり、設定したフレームサイズと同じサイズ(等倍)で映像を表示します。再度クリックするとブラウザのウィンドウサイズに合わせて表示(可変)します。
- 8** **全画面表示アイコン**
クリックすると映像が全画面表示になります。元に戻す場合はキーボードの Esc キーを押します。

9 フォーカスアシストアイコン

クリックすると  (赤色) に変わり、フォーカスアシストモードを開始し、フォーカスを合わせやすくなるように映像を自動調整します。

フォーカスアシストモード中は、映像上に CUR (現在の先鋭度)、BEST (先鋭度の最良値) を表示します。停止するには再度アイコンをクリックするか、3 分間経過すると自動的に停止します。

10 エンコーダー 1、2、3、4

選択した番号のエンコーダーの映像に切り替えます。

選択しているエンコーダーの数字は黄色で表示されます。「OFF」に設定しているエンコーダーは赤色で表示されます。

「設定値:エンコーダー ●1、2、3、4」

11 設定


クリックすると設定ページが開きます。

(P.19)

12 ログアウト

クリックすると本機からログアウトします。

メモ: _____

- 録画アイコン () は、パソコンへの録画であり、SD カードへの記録ではありません。設定ページに切り替えると、本録画は停止します。SD カード記録については、SD カード記録 (P.80) の項をご参照ください。
 - パソコンにオーディオドライバーがインストールされていないと、パソコンで音声入力や音声出力ができません。
 - 映像と音声の同期は取っていないため、ずれる場合があります。
 - フォーカスアシストモード中、オートパトロール、オートパン、オートリターン、オートクリーニングは動作を停止します。
 - ビューワー内の各アイコン・ボタンは、複数のクライアントで操作を行うと、実際の挙動と状態表示が一致しなくなることがあります。
-

設定

各設定は下記のページをご覧ください。

- カメラページ(P.19)
- PTZ ページ(P.38)
- ネットワークページ(P.41)
- 検出設定ページ(P.54)
- イベント設定ページ(P.62)
- システムページ(P.88)
- 動作状況ページ(P.98)
- 機器情報ページ(P.99)
- システムログページ(P.100)

ご注意：

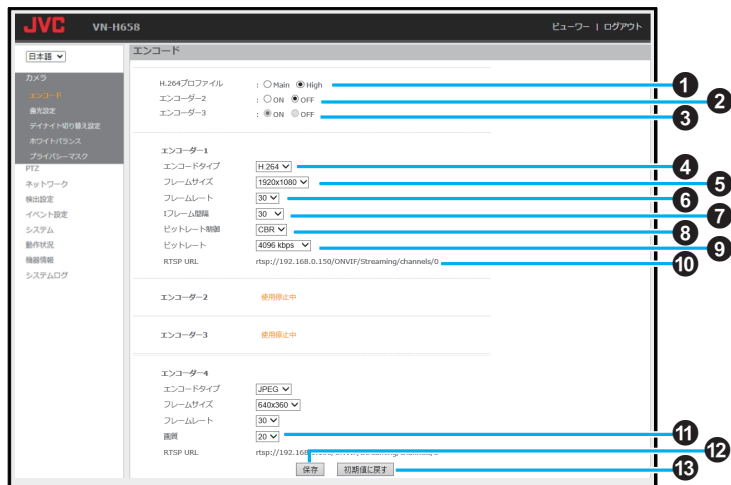
- 運用時は設定ページは閉じて使用してください。
 - 映像確認用のプレビュー画面が表示されるページで、デイモード用の設定とナイトモード用の設定を切り替えると誤検出を防止するために、動き検出 (P.54) と 妨害検出 (P.56) の機能を一時的に停止します。
 - 映像確認用のプレビュー画面では、デイモード用の設定またはナイトモード用の設定のどちらかを設定していますので、デイナイト切り替え設定 (P.33) の機能は一時的に停止します。
-

カメラ

本機のエンコード、露光設定、デナイト切り替え設定、ホワイトバランス、プライバシーマスクの設定が可能です。

エンコード

エンコードの設定をします。



ご注意：

- ビューワーを表示した状態でエンコードの設定を変更するときは、エンコーダー 1、2、3、4 の表示更新のためビューワーをリロードしてください。

設定値の ● は工場出荷の値です。

① H.264 プロファイル

- H.264 のプロファイルを選択します。
- Main：
処理負荷は上がりますが高画質化が可能です。
- High：
少ないビットレートで高画質を維持できます。

「設定値：Main、●High」

次のページへつづく

② エンコーダー 2

- 「OFF」を選択するとエンコーダー 2 は映像配信に使用できなくなります。
- 「設定値: ON、●OFF」

③ エンコーダー 3

- 「OFF」を選択すると、エンコーダー 3 は映像配信に使用できなくなります。
- 「設定値: ON、●OFF」

● エンコーダー 1~4 共通

④ エンコードタイプ

エンコードタイプ(「JPEG/H.264/H.265」)を選択します。

「JPEG」:各動画フレームは個別にフルスケールコンテンツを有したひとつの JPEG 映像として圧縮されており、容易に編集することが可能です。ただし、フレームごとの圧縮であるため、ファイルサイズが大きくなり、ネットワーク帯域が限られている環境ではフレームが失われる可能性があります。詳細については、ご注意ください(P.21)を参照してください。

「H.264/H.265」:ビデオ圧縮フォーマットで、すべてのフレームを記録するのではなく、各フレーム間で検知される差異を記録します。そのため、必要となるネットワーク帯域が少なく、JPEG に比べてファイルサイズも小さくなります。

「設定値: H.264、●H.265、JPEG」

⑤ フレームサイズ

フレームサイズを選択します。エンコーダー 4 のみフレームサイズは 640x360 で固定されます。また、エンコーダー 2~3 は、エンコーダー 1 より大きいフレームサイズは選択できません。エンコーダー 1 は、エンコーダー 2~4 より小さいフレームサイズは選択できません。

エンコーダー 1:

「設定値: ●1920x1080、1280x960、1280x720、640x480、640x360」

エンコーダー 2:

「設定値: 1280x960、1280x720、640x480、640x360、320x240」

エンコーダー 3:

「設定値: 1920x1080、1280x960、1280x720、640x480、640x360、320x240」

⑥ フレームレート

1 秒当たりのフレーム数を選択します。

エンコーダー 1: 「設定値: 1~60 (●30)」

エンコーダー 2: 「設定値: 1~30」

エンコーダー 3: 「設定値: 1~30」

エンコーダー 4: 「設定値: 1~30 (●30)」

⑦ I フレーム間隔

I フレーム間隔を選択します。数値を小さくすると画質は向上しますが広いネットワーク帯域が必要です。数値を大きくすると、帯域は少なくて済みますが、画質が低下することがあります。

- エンコードタイプが JPEG の場合は、この項目は表示されません。

エンコーダー 1: 「設定値: 1~120 (●30)」

エンコーダー 2: 「設定値: 1~120」

エンコーダー 3: 「設定値: 1~120」

エンコーダー 4: 「設定値: 1~120 (●30)」

⑧ ビットレート制御

ビットレートの制御方法を選択します。

- エンコードタイプが JPEG の場合は可変ビットレート(VBR)方式に固定され、項目は表示されません。

「設定値: ●CBR、VBR」

⑨ ビットレート

ビットレートを選択します。値を高くすると画質が向上するとともにファイルサイズが大きくなり、広いネットワーク帯域が必要となります。

- 「エンコードタイプ」が「JPEG」の場合は表示されません。

エンコーダー 1:

「設定値: 128 kbps/256 kbps/384 kbps/512 kbps/768 kbps/1024 kbps/1536 kbps/2048 kbps/3072 kbps/●4096 kbps/5120 kbps/6144 kbps/7168 kbps/8192 kbps/9126 kbps/10240 kbps/11264 kbps/12288 kbps」

エンコーダー 2:

「設定値: 128 kbps/256 kbps/384 kbps/512 kbps/768 kbps/1024 kbps/1536 kbps/2048 kbps/3072 kbps/4096 kbps/5120 kbps/6144 kbps/7168 kbps/8192 kbps/9126 kbps/10240 kbps/11264 kbps/12288 kbps」

エンコーダー 3:

「設定値: 128 kbps/256 kbps/384 kbps/512 kbps/768 kbps/1024 kbps/1536 kbps/2048 kbps/3072 kbps/4096 kbps/5120 kbps/6144 kbps/7168 kbps/8192 kbps/9126 kbps/10240 kbps/11264 kbps/12288 kbps」

エンコーダー 4:

「設定値: 128 kbps/256 kbps/384 kbps/512 kbps/768 kbps/●1024 kbps/1536 kbps/2048 kbps/3072 kbps/4096 kbps/5120 kbps」

- フレームサイズが 1280x960 以上の場合は、1024 kbps～12288 kbps が選択できます。
- フレームサイズが 1280x720 の場合は、384 kbps～12288 kbps が選択できます。
- フレームサイズが 640x480 以下の場合は、128 kbps～5120 kbps が選択できます。

⑩ RTSP URL

RTSP でリクエストするときの URL を表示します。

⑪ 画質

JPEG の画質を選択します。フレームサイズと画質の組み合わせによるファイルサイズの設定値は、次ページの JPEG 設定時の画質とフレームサイズごとのファイルサイズの目安 (P.21) をご覧ください。

- エンコードタイプが H.264/H.265 の場合は表示されません。

「設定値: ●20、30、40、50、60、70、80」

⑫ 保存

設定した内容を保存します。保存せずに他のページに移行すると設定内容は保存されません。

⑬ 初期値に戻す

クリックするとエンコードの全ての設定が工場出荷値に戻ります。

● JPEG 設定時の画質とフレームサイズごとのファイルサイズの目安

(1 フレーム当たりのデータ量: KByte)

フレームサイズ	画質						
	80	70	60	50	40	30	20
1920 x 1080	216	184	149	131	120	107	92
1280 x 960	138	111	96	87	79	69	59
1280 x 720	103	85	74	67	61	54	45
640 x 480	41	34	30	27	24	21	17
640 x 360	34	28	24	22	19	17	13
320 x 240	13	11	9	8	7	6	5

メモ:

- エンコーダーで設定できるフレームサイズの組み合わせは、(P.22) をご覧ください。
- エンコーダーの設定を変更しているときは、映像出力が途切れることがあります。
- 最大配信本数は、全エンコーダー合わせて 20 本までです。(音声配信を含む)
- 配信可能なストリームの合計ビットレートは 40 Mbps 未満です。

ご注意:

- エンコードタイプを JPEG に設定している場合、総配信ビットレートは下記のように計算できます。
”総配信ビットレート=映像 1 枚当たりのデータ量 x フレームレート x 配信本数” 総配信ビットレートが 40 Mbps 以上の場合、配信映像の滑らかさが失われる恐れがありますので、映像 1 枚当たりのデータ量、フレームレート、配信本数のいずれかを落として使用してください。総配信ビットレートの確認につきましては、動作状況 (P.98) をご参照ください。
- フレームサイズが 1920x1080、フレームレートが 60fps のとき、ビューワーの映像が遅延したり、滑らかに表示されなかったりする場合があります。このとき、記録映像には影響ありません。

エンコーダーで設定できるフレームサイズの組み合わせ表

- 最大フレームレートは、各フレームサイズの組み合わせにおいてエンコーダーに設定できる最大フレームレートの値です。
- ノーマルモード

エンコーダー 1 フレームサイズ/ 最大フレームレート		エンコーダー 2 フレームサイズ/ 最大フレームレート		エンコーダー 3 フレームサイズ/ 最大フレームレート		エンコーダー 4 フレームサイズ/ 最大フレームレート	
1920x1080	60	640x480	30	-	-	640x360	30
1920x1080	60	640x360	30	-	-	640x360	30
1920x1080	60	320x240	30	-	-	640x360	30
1920x1080	60	-	-	-	-	640x360	30
1920x1080	30	-	-	1920x1080	30	640x360	30
1920x1080	30	1280x960	30	1280x960	30	640x360	30
1920x1080	30	1280x960	30	1280x720	30	640x360	30
1920x1080	30	1280x960	30	640x480	30	640x360	30
1920x1080	30	1280x960	30	640x360	30	640x360	30
1920x1080	30	1280x960	30	320x240	30	640x360	30
1920x1080	30	1280x960	30	-	-	640x360	30
1920x1080	30	1280x720	30	1280x960	30	640x360	30
1920x1080	30	1280x720	30	1280x720	30	640x360	30
1920x1080	30	1280x720	30	640x480	30	640x360	30
1920x1080	30	1280x720	30	640x360	30	640x360	30
1920x1080	30	1280x720	30	320x240	30	640x360	30
1920x1080	30	1280x720	30	-	-	640x360	30
1920x1080	30	640x480	30	1280x960	30	640x360	30
1920x1080	30	640x480	30	1280x720	30	640x360	30
1920x1080	30	640x480	30	640x480	30	640x360	30
1920x1080	30	640x480	30	640x360	30	640x360	30
1920x1080	30	640x480	30	320x240	30	640x360	30
1920x1080	30	640x480	30	-	-	640x360	30
1920x1080	30	640x360	30	1280x960	30	640x360	30
1920x1080	30	640x360	30	1280x720	30	640x360	30
1920x1080	30	640x360	30	640x480	30	640x360	30
1920x1080	30	640x360	30	640x360	30	640x360	30
1920x1080	30	640x360	30	320x240	30	640x360	30
1920x1080	30	640x360	30	-	-	640x360	30
1920x1080	30	320x240	30	1280x960	30	640x360	30
1920x1080	30	320x240	30	1280x720	30	640x360	30
1920x1080	30	320x240	30	640x480	30	640x360	30
1920x1080	30	320x240	30	640x360	30	640x360	30
1920x1080	30	320x240	30	320x240	30	640x360	30

エンコーダー 1 フレームサイズ/ 最大フレームレート		エンコーダー 2 フレームサイズ/ 最大フレームレート		エンコーダー 3 フレームサイズ/ 最大フレームレート		エンコーダー 4 フレームサイズ/ 最大フレームレート	
1920x1080	30	320x240	30	-	-	640x360	30
1920x1080	30	-	-	1280x960	30	640x360	30
1920x1080	30	-	-	1280x720	30	640x360	30
1920x1080	30	-	-	640x480	30	640x360	30
1920x1080	30	-	-	640x360	30	640x360	30
1920x1080	30	-	-	320x240	30	640x360	30
1920x1080	30	-	-	-	-	640x360	30
1280x960	30	1280x960	30	1280x960	30	640x360	30
1280x960	30	1280x960	30	1280x720	30	640x360	30
1280x960	60	1280x960	30	640x480	30	640x360	30
1280x960	60	1280x960	30	640x360	30	640x360	30
1280x960	60	1280x960	30	320x240	30	640x360	30
1280x960	60	1280x960	30	-	-	640x360	30
1280x960	30	1280x720	30	1280x960	30	640x360	30
1280x960	60	1280x720	30	1280x720	30	640x360	30
1280x960	60	1280x720	30	640x480	30	640x360	30
1280x960	60	1280x720	30	640x360	30	640x360	30
1280x960	60	1280x720	30	320x240	30	640x360	30
1280x960	60	1280x720	30	-	-	640x360	30
1280x960	60	640x480	30	1280x960	30	640x360	30
1280x960	60	640x480	30	1280x720	30	640x360	30
1280x960	60	640x480	30	640x480	30	640x360	30
1280x960	60	640x480	30	640x360	30	640x360	30
1280x960	60	640x480	30	320x240	30	640x360	30
1280x960	60	640x480	30	-	-	640x360	30
1280x960	60	640x360	30	1280x960	30	640x360	30
1280x960	60	640x360	30	1280x720	30	640x360	30
1280x960	60	640x360	30	640x480	30	640x360	30
1280x960	60	640x360	30	640x360	30	640x360	30
1280x960	60	640x360	30	320x240	30	640x360	30
1280x960	60	640x360	30	-	-	640x360	30
1280x960	60	320x240	30	1280x960	30	640x360	30
1280x960	60	320x240	30	1280x720	30	640x360	30
1280x960	60	320x240	30	640x480	30	640x360	30
1280x960	60	320x240	30	640x360	30	640x360	30
1280x960	60	320x240	30	320x240	30	640x360	30
1280x960	60	320x240	30	-	-	640x360	30
1280x960	60	-	-	1280x960	30	640x360	30
1280x960	60	-	-	1280x720	30	640x360	30
1280x960	60	-	-	640x480	30	640x360	30

設定

エンコーダー 1 フレームサイズ/ 最大フレームレート		エンコーダー 2 フレームサイズ/ 最大フレームレート		エンコーダー 3 フレームサイズ/ 最大フレームレート		エンコーダー 4 フレームサイズ/ 最大フレームレート	
1280x960	60	-	-	640x360	30	640x360	30
1280x960	60	-	-	320x240	30	640x360	30
1280x960	60	-	-	-	-	640x360	30
1280x720	60	640x480	30	1280x720	30	640x360	30
1280x720	60	640x480	30	640x480	30	640x360	30
1280x720	60	640x480	30	640x360	30	640x360	30
1280x720	60	640x480	30	320x240	30	640x360	30
1280x720	60	640x480	30	-	-	640x360	30
1280x720	60	640x360	30	1280x720	30	640x360	30
1280x720	60	640x360	30	640x480	30	640x360	30
1280x720	60	640x360	30	640x360	30	640x360	30
1280x720	60	640x360	30	320x240	30	640x360	30
1280x720	60	640x360	30	-	-	640x360	30
1280x720	60	320x240	30	1280x720	30	640x360	30
1280x720	60	320x240	30	640x480	30	640x360	30
1280x720	60	320x240	30	640x360	30	640x360	30
1280x720	60	320x240	30	320x240	30	640x360	30
1280x720	60	320x240	30	-	-	640x360	30
1280x720	60	-	-	1280x720	30	640x360	30
1280x720	60	-	-	640x480	30	640x360	30
1280x720	60	-	-	640x360	30	640x360	30
1280x720	60	-	-	320x240	30	640x360	30
1280x720	60	-	-	-	-	640x360	30
640x480	60	640x480	30	640x480	30	640x360	30
640x480	60	640x480	30	640x360	30	640x360	30
640x480	60	640x480	30	320x240	30	640x360	30
640x480	60	640x480	30	-	-	640x360	30
640x480	60	640x360	30	640x480	30	640x360	30
640x480	60	640x360	30	640x360	30	640x360	30
640x480	60	640x360	30	320x240	30	640x360	30
640x480	60	640x360	30	-	-	640x360	30
640x480	60	320x240	30	640x480	30	640x360	30
640x480	60	320x240	30	640x360	30	640x360	30
640x480	60	320x240	30	320x240	30	640x360	30
640x480	60	320x240	30	-	-	640x360	30
640x480	60	-	-	640x480	30	640x360	30
640x480	60	-	-	640x360	30	640x360	30
640x480	60	-	-	320x240	30	640x360	30
640x480	60	-	-	-	-	640x360	30
640x360	60	640x360	30	640x360	30	640x360	30

エンコーダー 1 フレームサイズ/ 最大フレームレート		エンコーダー 2 フレームサイズ/ 最大フレームレート		エンコーダー 3 フレームサイズ/ 最大フレームレート		エンコーダー 4 フレームサイズ/ 最大フレームレート	
640x360	60	640x360	30	320x240	30	640x360	30
640x360	60	640x360	30	-	-	640x360	30
640x360	60	320x240	30	640x360	30	640x360	30
640x360	60	320x240	30	320x240	30	640x360	30
640x360	60	320x240	30	-	-	640x360	30
640x360	60	-	-	640x360	30	640x360	30
640x360	60	-	-	320x240	30	640x360	30
640x360	60	-	-	-	-	640x360	30

設定

● WDR モード

エンコーダー 1 フレームサイズ/ 最大フレームレート		エンコーダー 2 フレームサイズ/ 最大フレームレート		エンコーダー 3 フレームサイズ/ 最大フレームレート		エンコーダー 4 フレームサイズ/ 最大フレームレート	
1920x1080	30	1280x960	30	1280x960	30	640x360	30
1920x1080	30	1280x960	30	1280x720	30	640x360	30
1920x1080	30	1280x960	30	640x480	30	640x360	30
1920x1080	30	1280x960	30	640x360	30	640x360	30
1920x1080	30	1280x960	30	320x240	30	640x360	30
1920x1080	30	1280x960	30	-	-	640x360	30
1920x1080	30	1280x720	30	1280x960	30	640x360	30
1920x1080	30	1280x720	30	1280x720	30	640x360	30
1920x1080	30	1280x720	30	640x480	30	640x360	30
1920x1080	30	1280x720	30	640x360	30	640x360	30
1920x1080	30	1280x720	30	320x240	30	640x360	30
1920x1080	30	1280x720	30	-	-	640x360	30
1920x1080	30	640x480	30	1280x960	30	640x360	30
1920x1080	30	640x480	30	1280x720	30	640x360	30
1920x1080	30	640x480	30	640x480	30	640x360	30
1920x1080	30	640x480	30	640x360	30	640x360	30
1920x1080	30	640x480	30	320x240	30	640x360	30
1920x1080	30	640x480	30	-	-	640x360	30
1920x1080	30	640x360	30	1280x960	30	640x360	30
1920x1080	30	640x360	30	1280x720	30	640x360	30
1920x1080	30	640x360	30	640x480	30	640x360	30
1920x1080	30	640x360	30	640x360	30	640x360	30
1920x1080	30	640x360	30	320x240	30	640x360	30
1920x1080	30	640x360	30	-	-	640x360	30
1920x1080	30	320x240	30	1280x960	30	640x360	30
1920x1080	30	320x240	30	1280x720	30	640x360	30
1920x1080	30	320x240	30	640x480	30	640x360	30
1920x1080	30	320x240	30	640x360	30	640x360	30
1920x1080	30	320x240	30	320x240	30	640x360	30
1920x1080	30	320x240	30	-	-	640x360	30
1920x1080	30	-	-	1280x960	30	640x360	30

エンコーダー 1 フレームサイズ/ 最大フレームレート		エンコーダー 2 フレームサイズ/ 最大フレームレート		エンコーダー 3 フレームサイズ/ 最大フレームレート		エンコーダー 4 フレームサイズ/ 最大フレームレート	
1920x1080	30	-	-	1280x720	30	640x360	30
1920x1080	30	-	-	640x480	30	640x360	30
1920x1080	30	-	-	640x360	30	640x360	30
1920x1080	30	-	-	320x240	30	640x360	30
1920x1080	30	-	-	-	-	640x360	30
1280x960	30	1280x960	30	1280x960	30	640x360	30
1280x960	30	1280x960	30	1280x720	30	640x360	30
1280x960	30	1280x960	30	640x480	30	640x360	30
1280x960	30	1280x960	30	640x360	30	640x360	30
1280x960	30	1280x960	30	320x240	30	640x360	30
1280x960	30	1280x960	30	-	-	640x360	30
1280x960	30	1280x720	30	1280x960	30	640x360	30
1280x960	30	1280x720	30	1280x720	30	640x360	30
1280x960	30	1280x720	30	640x480	30	640x360	30
1280x960	30	1280x720	30	640x360	30	640x360	30
1280x960	30	1280x720	30	320x240	30	640x360	30
1280x960	30	1280x720	30	-	-	640x360	30
1280x960	30	640x480	30	1280x960	30	640x360	30
1280x960	30	640x480	30	1280x720	30	640x360	30
1280x960	30	640x480	30	640x480	30	640x360	30
1280x960	30	640x480	30	640x360	30	640x360	30
1280x960	30	640x480	30	320x240	30	640x360	30
1280x960	30	640x480	30	-	-	640x360	30
1280x960	30	640x360	30	1280x960	30	640x360	30
1280x960	30	640x360	30	1280x720	30	640x360	30
1280x960	30	640x360	30	640x480	30	640x360	30
1280x960	30	640x360	30	640x360	30	640x360	30
1280x960	30	640x360	30	320x240	30	640x360	30
1280x960	30	640x360	30	-	-	640x360	30
1280x960	30	320x240	30	1280x960	30	640x360	30
1280x960	30	320x240	30	1280x720	30	640x360	30
1280x960	30	320x240	30	640x480	30	640x360	30
1280x960	30	320x240	30	640x360	30	640x360	30
1280x960	30	320x240	30	320x240	30	640x360	30
1280x960	30	320x240	30	-	-	640x360	30
1280x960	30	-	-	1280x960	30	640x360	30
1280x960	30	-	-	1280x720	30	640x360	30

設定

エンコーダー 1 フレームサイズ/ 最大フレームレート		エンコーダー 2 フレームサイズ/ 最大フレームレート		エンコーダー 3 フレームサイズ/ 最大フレームレート		エンコーダー 4 フレームサイズ/ 最大フレームレート	
1280x960	30	-	-	640x480	30	640x360	30
1280x960	30	-	-	640x360	30	640x360	30
1280x960	30	-	-	320x240	30	640x360	30
1280x960	30	-	-	-	-	640x360	30
1280x720	30	640x480	30	1280x720	30	640x360	30
1280x720	30	640x480	30	640x480	30	640x360	30
1280x720	30	640x480	30	640x360	30	640x360	30
1280x720	30	640x480	30	320x240	30	640x360	30
1280x720	30	640x480	30	-	-	640x360	30
1280x720	30	640x360	30	1280x720	30	640x360	30
1280x720	30	640x360	30	640x480	30	640x360	30
1280x720	30	640x360	30	640x360	30	640x360	30
1280x720	30	640x360	30	320x240	30	640x360	30
1280x720	30	640x360	30	-	-	640x360	30
1280x720	30	320x240	30	1280x720	30	640x360	30
1280x720	30	320x240	30	640x480	30	640x360	30
1280x720	30	320x240	30	640x360	30	640x360	30
1280x720	30	320x240	30	320x240	30	640x360	30
1280x720	30	320x240	30	-	-	640x360	30
1280x720	30	-	-	1280x720	30	640x360	30
1280x720	30	-	-	640x480	30	640x360	30
1280x720	30	-	-	640x360	30	640x360	30
1280x720	30	-	-	320x240	30	640x360	30
1280x720	30	-	-	-	-	640x360	30
640x480	30	640x480	30	640x480	30	640x360	30
640x480	30	640x480	30	640x360	30	640x360	30
640x480	30	640x480	30	320x240	30	640x360	30
640x480	30	640x480	30	-	-	640x360	30
640x480	30	640x360	30	640x480	30	640x360	30
640x480	30	640x360	30	640x360	30	640x360	30
640x480	30	640x360	30	320x240	30	640x360	30
640x480	30	640x360	30	-	-	640x360	30

エンコーダー 1 フレームサイズ/ 最大フレームレート		エンコーダー 2 フレームサイズ/ 最大フレームレート		エンコーダー 3 フレームサイズ/ 最大フレームレート		エンコーダー 4 フレームサイズ/ 最大フレームレート	
640x480	30	320x240	30	640x480	30	640x360	30
640x480	30	320x240	30	640x360	30	640x360	30
640x480	30	320x240	30	320x240	30	640x360	30
640x480	30	320x240	30	-	-	640x360	30
640x480	30	-	-	640x480	30	640x360	30
640x480	30	-	-	640x360	30	640x360	30
640x480	30	-	-	320x240	30	640x360	30
640x480	30	-	-	-	-	640x360	30
640x360	30	640x360	30	640x360	30	640x360	30
640x360	30	640x360	30	320x240	30	640x360	30
640x360	30	640x360	30	-	-	640x360	30
640x360	30	320x240	30	640x360	30	640x360	30
640x360	30	320x240	30	320x240	30	640x360	30
640x360	30	320x240	30	-	-	640x360	30
640x360	30	-	-	640x360	30	640x360	30
640x360	30	-	-	320x240	30	640x360	30
640x360	30	-	-	-	-	640x360	30

メモ：—

- フレームサイズが「-」のときは、エンコーダーが **OFF** であることを表しています。
- エンコーダー 4 のみフレームサイズは **640x360** で固定されます。
- エンコーダー 2 とエンコーダー 3 に設定できるフレームサイズは、エンコーダー 1 と同じか、エンコーダー 1 以下のフレームサイズになります。
- エンコーダー 2 とエンコーダー 3 は **OFF** にすることができます。
- エンコーダー 1 とエンコーダー 4 は常に **ON** になっています。
- **WDR** モード時は、設定可能な最大フレームレートは **30fps** になります。
- エンコーダー 4 の設定について
 - **FTP** 記録やメール送信または **TCP** 通知や **HTTP** 通知の **JPEG** 添付を利用するためにはエンコーダー 4 のエンコードタイプを **JPEG** に設定してください。

設定

露光設定

映像の露光を調整します。

JVC VN-H65B ビューワー | ログアウト

日本語

カメラ設定

露光設定

イメージエンハンスモード: ノーマル

1 2

3

4

5

6

7

8

9

10

11

12

13

14

15

16

17

18

シャッタースピード: オート (1/30 ~ 1/30000)

露光アップ: OFF

逆光補正: OFF

アイリス制御: オート

カラーモード: カラー

ホワイトバランス: ノーマル

カラーレベル: ノーマル

ブロッケレベル: ノーマル

3次元ノイズリダクション: 3

エンハンスレベル: ノーマル

ガンマ: 0.45

コントラスト: ノーマル

露除去レベル: OFF

赤外線カットフィルター: ON

光源識別: 可視光

JVC VN-H65B ビューワー | ログアウト

日本語

カメラ設定

露光設定

イメージエンハンスモード: WDR

19

20

フリッカーレス: OFF

アイリス制御: オート

カラーモード: カラー

ホワイトバランス: ノーマル

カラーレベル: ノーマル

ブロッケレベル: ノーマル

3次元ノイズリダクション: 3

エンハンスレベル: ノーマル

ガンマ: 0.45

コントラスト: ノーマル

露除去レベル: OFF

赤外線カットフィルター: ON

光源識別: 可視光

設定値の●は工場出荷の値です。

① イメージエンハンスモード

撮影モード(「ノーマル」、「WDR」)を切り替えます。

- ノーマルモードでは、WDRのような特殊効果はありませんが、映像の仕上がりが人の目で見えるものに近いため自然に見えます。
- WDRモードでは、ダイナミックレンジを拡大できます。明暗差の大きい被写体を撮影するとき、明部/暗部の両方が見やすくなる効果があります。

② 適用

「設定値:● ノーマル、WDR」
クリックすると[イメージエンハンスモード]が設定されます。

③ デイモード/ナイトモード

ボタンによる切り替えを行うことで、デイモード用の露光設定とナイトモード用の露光設定を編集することができます。

- [露光設定]以外のページに移行すると、[デイ/ナイト切り替え設定]で設定したモードにて動作します。

● デイモード/ナイトモード共通

④ シャッタースピード

シャッタースピードを設定します。

- 「オート」では、()内の範囲でシャッタースピードが変わります。
- 「フリッカレス」では、フリッカーの低減を行います。(被写体の照度が高い場合、フリッカレスにはなりません)
- 「カスタム」では、シャッタースピードの高速と低速のそれぞれを設定する選択枠が表示されます。
- [イメージエンハンスモード]がWDRモードの場合、この項目は表示されません。

「設定値: 1/30、1/50、1/60、1/100、1/120、1/240、1/480、1/1000、1/2000、1/4000、1/10000、1/30000、オート(1/30~1/100)、オート(1/30~1/1000)、オート(1/30~1/10000)、● オート(1/30~1/30000)、フリッカレス(50Hz)、フリッカレス(60Hz)、カスタム」

⑤ 感度アップ

電子感度アップを設定します。

- [イメージエンハンスモード]がWDRモードの場合、この項目は表示されません。

「設定値: ●OFF、x2、x4、x8、x16」

⑥ 逆光補正

「ON」に設定すると映像の中心部分に合わせて測光します。



「OFF」に設定すると映像の全体に合わせて測光します。

- [イメージエンハンスモード]がWDRモードの場合、この項目は表示されません。
- 「設定値: ON、●OFF」

⑦ アイリス制御

アイリス制御の方法を切り替えます。

「オート」では、明るさに応じてアイリスが制御されます。

- 「OFF」では、アイリスが全開になります。
 - 「1」~「14」はアイリスが固定されます。数字が大きいほど明るくなります。
- 「カスタム」では、設定した最小値と最大値のそれぞれを設定する選択枠が表示されます。設定値の間で、アイリスが自動制御されます。
- 「設定値: ● オート、1~14、OFF、カスタム」

⑧ カラーモード

「カラー」または「白黒」を選択します。

- デイモード用の露光設定ではカラー、ナイトモード用の露光設定では白黒での使用が一般的となります。
- デイモード用の露光設定に対して白黒、ナイトモード用の露光設定に対してもカラーを設定することはできません。

デイモード: 「設定値: ● カラー、白黒」

ナイトモード: 「設定値: カラー、● 白黒」

次のページへつづく

設定

9 ブライツネス

映像の明るさを調節します。数字が大きくなるほど画面全体の映像が明るくなります。
「設定値: ● ノーマル、-5~10」

10 カラーレベル

映像の彩度を調節します。
「設定値: ● ノーマル、-5~5」

11 ブラックレベル

映像における黒の基準レベルを設定します。
「設定値: ● ノーマル、-10~10」

12 3次元ノイズリダクション

画面上のノイズを除去します。
「設定値: 0~10(●3)」

13 エンハンスレベル

輪郭の強調具合を調節します。
「設定値: ● ノーマル、-4~5」

14 ガンマ

ガンマ設定を選択します。カスタム 1~3 は暗い部分をより明るく見ることができます。「カスタム 3」にすると暗い部分が最も明るくなります。
「設定値: 0.35、●0.45、1.0、カスタム 1、カスタム 2、カスタム 3」

メモ: _____
• カスタム 1~3 では暗い部分のノイズが増えて見えることがあります。

15 コントラスト

映像のコントラストを調節します。
• ガンマの設定が 0.45 のときに設定可能です
「設定値: ● ノーマル、-5~5」

16 霧除去レベル

霧や粉塵などが多い環境での映像のボケを調整します。「High」にすると霧や粉塵による影響を軽減する効果が最も高くなります。
• ガンマの設定が 0.45 のときに設定可能です
「設定値: ● OFF、Low、Mid、High」

17 赤外線カットフィルター

赤外線カットフィルターの有無を設定します。
デイモード: 「設定値: OFF、●ON」
ナイトモード: 「設定値: ●OFF、ON」

18 光源種別

撮影用の光源を設定します。
「設定値: ● 可視光、赤外光」

19 フリッカレス

WDR モードでロングシャッターの最遅値を設定することができます。

- 「OFF」では、シャッター速度制限なしで動作します。
 - 「50Hz」では、50Hz 駆動の照明などのチラツキ(フリッカー)を軽減します。
 - 「60Hz」では、60Hz 駆動の照明などのチラツキ(フリッカー)を軽減します。
- 「設定値: ●OFF、50Hz、60Hz」

デイナイト切り替え設定

デイモード用の設定とナイトモード用の設定の切り替えに関する設定をします。

The image displays two screenshots of the JVC VN-H658 menu interface, specifically the 'デイナイト切り替え設定' (Day/Night Switching Settings) screen. The top screenshot shows the 'オート' (Auto) mode selected, with callouts 1 through 5 pointing to various settings: 1. AGC (60), 2. Day/Night control, 3. Day to Night gain (50), 4. Night to Day gain (30), and 5. Switching delay (15). The bottom screenshot shows the 'スケジュール' (Schedule) mode selected, with callouts 6 through 10 pointing to: 6. Mode selection (Schedule), 7. Day to Night gain (18), 8. Night to Day gain (5), 9. Switching delay (2), and 10. The Save button.

次のページへつづく

設定

設定値の●は工場出荷の値です。

① AGC

AGC(オートゲインコントロール)を設定します。

「設定値:●0~71(●60)」

② オート

デイモード用の設定とナイトモード用の設定を自動で切り替えます。

- AGCゲインが[デイからナイトへの切替ゲイン]の値を上回ったとき、ナイトモードに切り替わります。

「設定値:6~70(●50)」

- AGCゲインが[ナイトからデイへの切替ゲイン]の値を下回ったとき、デイモードに切り替わります。

「設定値:0~69(●30)」

③ 切替遅延時間

デイモード用の設定とナイトモード用の設定を自動で切り替えるときの遅延時間を設定します。

「設定値:1、2、5、10、●15、20、30」秒

④ デイモード

デイモード用の設定になります。

⑤ ナイトモード

ナイトモード用の設定になります。

⑥ スケジュール

デイモード用の設定とナイトモード用の設定が任意の時刻で切り替わります。

⑦ デイからナイトへの切替時刻

スケジュールにチェックを入れる则表示されます。デイモード用の設定からナイトモード用の設定に切り替える時間を設定します。

「設定値:●18:00、0~23:0~59」

⑧ ナイトからデイへの切替時刻

スケジュールにチェックを入れる则表示されます。ナイトモード用の設定からデイモード用の設定に切り替える時間を設定します。

「設定値:●5:00、0~23:0~59」

⑨ D/N 入力

アラーム入力端子を接続してデイモード用の設定とナイトモード用の設定を切り替えます。

⑩ 入力極性

「設定値:●メイク、ブレイク」

⑪ 切替遅延時間

「設定値:1、●2、5、10、15、20、30」秒

⑫ 保存

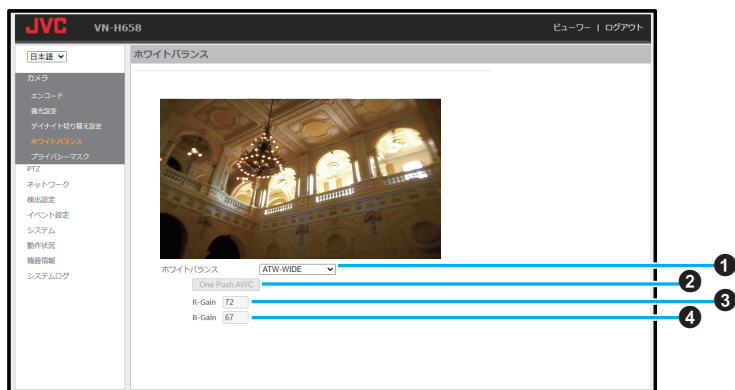
設定した内容を保存します。保存せずに他のページに移行すると設定内容は保存されません。

ご注意:

- オート機能(オートパン、オートパトロール)が動作しているときにデイナイト切り替えの設定を変更することはできませんが、オート機能のポジション呼び出しによりデイナイト切り替えの設定が順次書き換わります。
- デイナイト切り替え設定を「オート」で使用すると撮影環境によっては「デイモード」と「ナイトモード」を繰り返す場合があります。このような場合は「スケジュール」や「D/N 入力」で使用してください。

ホワイトバランス

周辺の条件に応じて色調の再現を 4 つのモードで最適化します。



設定値の ● は工場出荷の値です。

① ホワイトバランスモード

ホワイトバランスモードを切り替えます。
ATW とは、Auto-Tracking White Balance (自動色温度追尾) の略称です。

ATW-NARROW:

NARROW モードになります。自動で色温度範囲 (約 3000K~8000K) を調整します。

ATW-WIDE:

WIDE モードになります。自動で色温度範囲 (約 2500K~10000K) を調整します。

ATW-FULL:

FULL モードになります。照明の色温度に応じ、広範囲で自動的にホワイトバランスを調整します。

AWC(マニュアル):

Auto-White Balance Control モードになります。このモードを選択すると R-Gain/B-Gain の調節が可能になり、また、「OnePushAWC」ボタンが有効になります。

「設定値: ATW-NARROW、●ATW-WIDE、ATW-FULL、AWC(マニュアル)」

ホワイトバランスモードが「AWC(マニュアル)」の場合、下記の項目が設定できます。

② OnePushAWC

オートホワイトバランス調整を実行します。調整後の設定値は下記の R-Gain/B-Gain に反映されます。

- 被写体と同じ照明条件のところで、画面全体に白いものが映るようにして実行してください。

③ R-Gain

R(赤)のレベルを調節します。
「設定値: 1~255(●72)」

④ B-Gain

B(青)のレベルを調節します。
「設定値: 1~255(●67)」

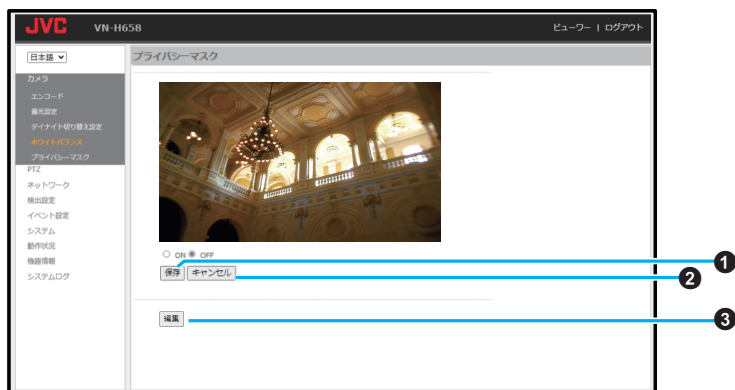
設定

プライバシーマスク

プライバシー保護のため、表示映像の一部を隠すことができます。

メモ：――

- プライバシーの保護を確実にするために、プライバシーマスクの設定完了後、ビューワーでパン/チルト操作を行い、隠れていることを確認してください。隠れない場合は、プライバシーマスクの大きさを少し大きめに設定し、再度確認してください。



設定値の●は工場出荷の値です。

「ON」に設定すると設定されているマスクをビューワーに表示します。

「設定値：ON、●OFF」

① 保存

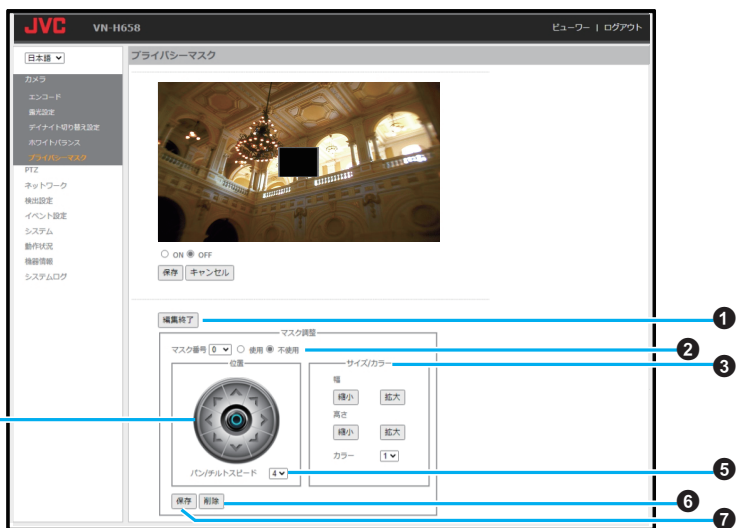
マスク表示の設定が保存されます。

② キャンセル

マスク表示の設定を保存せずにプライバシーマスクページを再表示します。

③ 編集

マスク調整用の編集モードになります。



① 編集終了

編集モードを終了します。

② マスク番号

編集マスクを 24 個のうち 1 つ選択できます。

「設定値: 0~23 (●0)」

「使用」に設定すると選択したマスクを有効にします。

「不使用」に設定すると選択したマスクを無効にします。

「設定値: 使用、● 不使用」

③ サイズ/カラー

マスクサイズを調整することができます。

- ・ [縮小] ボタンで、マスク幅/高さを縮小、[拡大] ボタンで、マスク幅/高さを拡大できます。

プライバシーマスクの色を選択できます。

- ・ マスクの色はすべてグレーであり、1 が最も暗くなります。

「設定値: ●1、2、3」

④ パン/チルト操作ボタン

マスクの位置を調整します。

⑤ パン/チルトスピード

マスクの位置を調整するためのパン/チルトスピードを設定します。

「設定値: 1~8 (●4)」

⑥ 削除

指定したマスク番号の設定を初期値に戻します。

⑦ 保存

指定したマスク番号の設定を保存します。

ご注意:

- ・ プライバシーマスクの設定は、ズーム倍率を x1 にして行ってください。
- ・ プライバシーマスクは、設定サイズよりも少し大きめに保存されます。

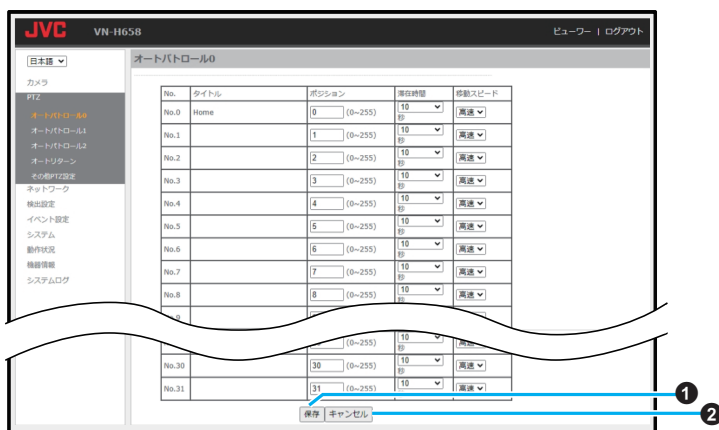
PTZ

オートパトロール 0、オートパトロール 1、オートパトロール 2、オートリターンそれぞれの設定およびその他の PTZ の設定ができます。

オートパトロール 0/1/2

設定時間の間隔で複数のポジションの映像を切り換えて表示するオートパトロール動作の設定を行います。決められたポジションを順番に見たい場合に設定します。

画面例は「オートパトロール 0」です



設定値の ● は工場出荷の値です。

● No.、タイトル、ポジション

オートパトロールの順番に任意のプリセットポジションの番号を割り当てることができます。

No.0 から No.31 の順にパトロールを繰り返します。割り当てたプリセットポジションが登録されていない場合、そのポジションへの移動を行わず、次のパトロールの順番に移動します。

- オートパトロール動作中でもパトロールの順番は変更できます。

「設定値：0～255(●0～31)」

● 滞在時間

各ポジションの滞在時間を選択できます。

- オートパトロール動作中でも滞在時間は変更できます。

「設定値：スキップ、●10、20、30、45、60、120」秒

● 移動スピード

ポジション間の移動スピードを選択できます。

- オートパトロール動作中でも移動スピードは変更できます。

「設定値：低速、中速、●高速」

① 保存

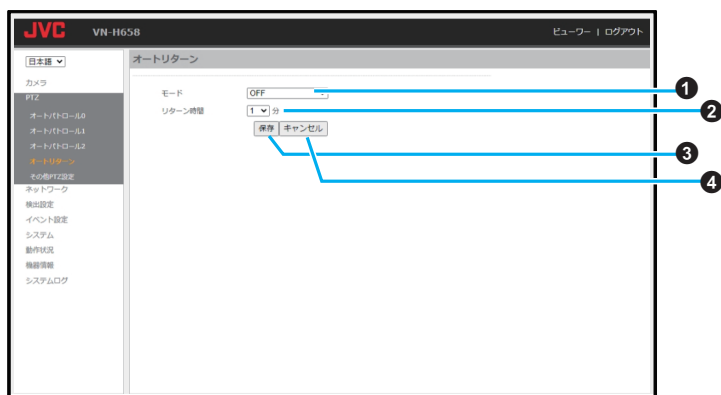
設定した内容を保存します。保存せずに他のページに移行すると設定内容は保存されません。

② キャンセル

変更した値を変更前の値へ戻したい場合にクリックしてください。なお、変更した他の項目も変更する前の設定値に戻ります。

オートリターン

オートリターンとは、一定時間以上 PTZ 操作やポジション移動操作が行われない場合に、あらかじめ設定したモードに自動的に移行する機能です。



設定値の ● は工場出荷の値です。

① モード

オートリターン後の動作モードを選択します。

「OFF」: オートリターンは動作しません。

「Home」: 一定時間無操作で Home ポジションに戻ります。

「オートパン」: 一定時間無操作で、オートパンを開始します。(P.14)

「オートパトロール 0～2」: 一定時間無操作でオートパトロールを開始します。

「設定値: ●OFF、Home、オートパン、オートパトロール 0～2」

② リターン時間

リターンを開始するまでの無操作時間を設定します。

● 無操作時間とは、PTZ 操作やポジション移動操作が行われない時間のことです。

「設定値: ●1、2、3、5、10、20、30、60」分

③ 保存

設定した内容を保存します。保存せずに他のページに移行すると設定内容は保存されません。

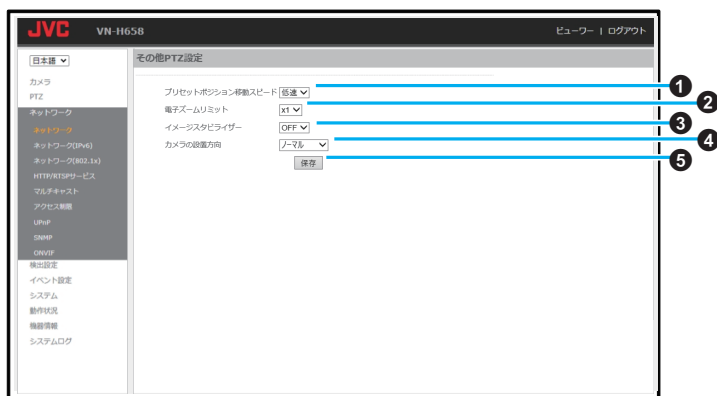
④ キャンセル

変更した値を変更前の値へ戻りたい場合にクリックしてください。なお、変更した他の項目も変更する前の設定値に戻ります。

メモ:

- すでに変更した値を保存している場合は、最後に[保存]ボタンをクリックしたときの設定に戻ります。

その他 PTZ 設定



設定値の●は工場出荷の値です。

① プリセットポジション移動スピード

プリセットポジション移動のスピードを設定します。
「設定値: 低速、● 中速、高速」

メモ: _____

- プリセットポジション移動スピードを高速でご利用いただく場合は、PoE++または AC24V 電源を使用してください。

② 電子ズームリミット

電子ズームリミットを設定します。
電子ズームリミットよりも大きい倍率にズーム倍率があるときはズームインできません。
「設定値: x1、●x2、x4、x8」

③ イメージスタビライザー

ON にすると、イメージスタビライザーが有効になりブレ補正を行います。
• ON に設定すると、画角が狭くなり解像度が低くなります。
「設定値: ●OFF、ON」

ご注意: _____

- イメージスタビライザーを ON に設定すると自動的に電子ズームリミットが x1 に設定されます。

④ カメラの設置方向(VN-H658 のみ)

カメラの上下の設置位置を変えることができます。

「ノーマル」にすると天吊り、「デスクトップ」にすると卓上に設置したときの見え方になります。

- デスクトップに設定すると、パン/チルトの向きが映像の見え方に合わせて変わります。
「設定値: ● ノーマル、デスクトップ」

ご注意: _____

- カメラの設置方向をご使用環境に合わせて設定した上で、プリセットポジションやプライバシーマスクを設定してください。
カメラの設置方向を変更すると、ネットワーク以外の設定を初期化し、カメラを再起動します。

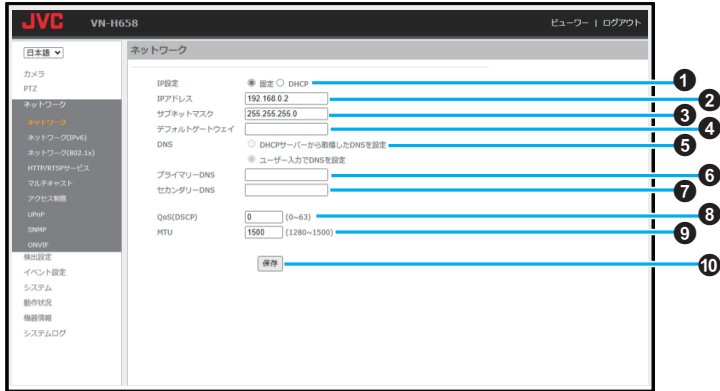
⑤ 保存

設定した内容を保存します。保存せずに他のページに移行すると設定内容は保存されません。

ネットワーク

ネットワーク

本機で使用できるネットワーク環境の詳細設定について説明します。



設定値の●は工場出荷の値です。

① IP 設定

ネットワークの設定方法を選択します。

「固定 IP」:

すべて手動で入力して設定します。

「DHCP」:

DHCP サーバーから IP アドレスなどを自動取得して設定します。

「設定値:● 固定 IP、DHCP」

② IP アドレス

本機の IP アドレスを設定します。

「初期値: 192.168.0.2」

メモ:

- DHCP での設定時は自動で取得した値が表示され、グレーアウトして手動での入力はできません。

③ サブネットマスク

本機のサブネットマスクを設定します。

「初期値: 255.255.255.0」

メモ:

- DHCP での設定時は自動で取得した値が表示され、グレーアウトして手動での入力はできません。

④ デフォルトゲートウェイ

本機のデフォルトゲートウェイを設定します。
「設定値:● 空欄」

メモ:

- DHCP での設定時は自動で取得した値が表示され、グレーアウトして手動での入力はできません。

⑤ DNS

DNS サーバーの設定を DHCP サーバーから自動取得して行うか、手動で行うかを選択します。

「設定値:DHCP サーバーから取得した DNS を設定、● ユーザー入力で DNS を設定」

メモ:

- “IP 設定”が DHCP 以外の場合は、グレーアウトして選択できません。

⑥ プライマリー DNS

プライマリー DNS を設定します。

「設定値:● 空欄」

メモ:

- “IP 設定”が DHCP で、“DNS”が「DHCP サーバーから取得した DNS を設定」の場合は、グレーアウトして入力はできません。

次のページへつづく

設定

⑦ セカンダリー DNS

セカンダリー DNS を設定します。

「設定値: ● 空欄」

メモ: _____

- “IP 設定”が DHCP で、“DNS”が「DHCP サーバーから取得した DNS を設定」の場合は、グレーストして入力できません。

⑧ QoS(DSCP)

本機のネットワークトラフィックに優先度とパケット破棄の割合を設定します。

「設定値: 0~63 (●0)」

⑨ MTU

映像データを格納するパケットの最大サイズを設定します。

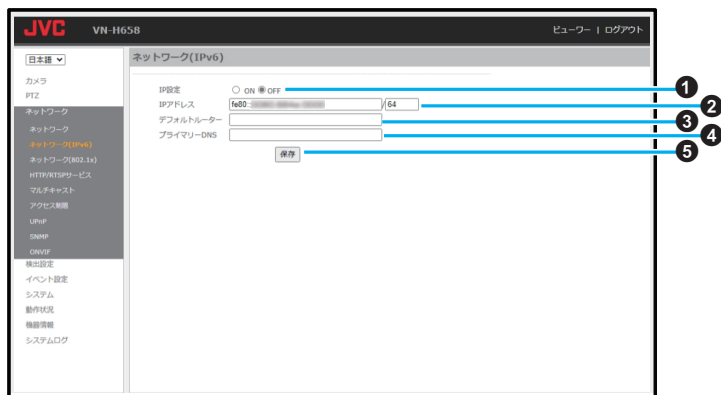
「設定値: 1280~1500 (●1500)」

⑩ 保存

設定した内容を保存します。保存せずに他のページに移行すると設定内容は保存されません。

ネットワーク(IPv6)

IPv6 のネットワークを設定します。



設定値の ● は工場出荷の値です。

① IP 設定

ON を選択すると IPv6 アドレスが有効になり、IPv6 アドレスを使って本機にアクセスできます。(HTTP アクセスのみ)
「設定値: ON、●OFF」

② IP アドレス

IPv6 アドレスの初期値は MAC アドレスを元に作成されるグローバルアドレスです
IPv6 アドレスはリンクローカルアドレス、またはグローバルアドレスをご使用ください。
● リンクローカルアドレスは自動生成されません。
● グローバルアドレスを複数持つことはできません。

③ デフォルトルーター

デフォルトルーターを設定します。
「設定値: ● 空欄」

④ プライマリ DNS

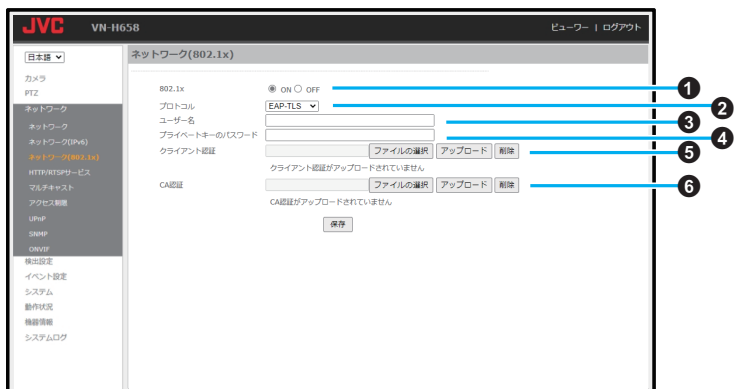
プライマリ DNS を設定します。
「設定値: ● 空欄」

⑤ 保存

設定した内容を保存します。保存せずに他のページに移行すると設定内容は保存されません。

ネットワーク(802.1x)

802.1x 認証を設定します。



設定値の ● は工場出荷の値です。

① 802.1x

ON を選択すると 802.1x 認証が有効になり、802.1x を使って本機にアクセスできます。
「設定値: ON、●OFF」

② プロトコル

802.1x 認証で使用するプロトコルを選択します。
「EAP-TLS」:
EAP-TLS を使用します。デジタル証明書の相互認証が必要となります。

「EAP-PEAP」:
EAP-PEAP を使用します。接続サーバー側のみデジタル証明書が必要となります。
「設定値: ●EAP-TLS、EAP-PEAP」

メモ: _____

- [プロトコル]を“EAP-PEAP”に設定したときに、[サーバー証明書]が表示されます。

③ ユーザー名

802.1x 認証で接続許可するユーザー名を設定します。半角英数文字 36 文字まで入力できます。
「設定値: ● 空欄」

④ プライベートキーのパスワード/パスワード

802.1x 認証で接続するときのパスワードを設定します。半角英数文字 4~36 文字まで入力できます。
「設定値: ● 空欄」

メモ: _____

- [プロトコル]を“EAP-TLS”に設定したときに、[プライベートキーのパスワード]が表示されません。
- [プロトコル]を“EAP-PEAP”に設定したときに、[パスワード]が表示されます。

⑤ クライアント認証

プライベート認証局で発行した証明書を使用する場合に設定します。[参照]ボタンをクリックして証明書を選択し、[アップロード]ボタンをクリックして証明書をアップロードしてください。

メモ: _____

- [プロトコル]を“EAP-TLS”に設定したときに、[クライアント認証]が表示されます。

⑥ CA 認証

パブリック認証局(CA)で発行した証明書を使用する場合に設定します。[参照]ボタンをクリックして証明書を選択し、[アップロード]ボタンをクリックして証明書をアップロードしてください。

⑦ サーバー証明書

ON を選択すると、サーバー証明書を有効にします。
「設定値: ON、●OFF」

メモ: _____

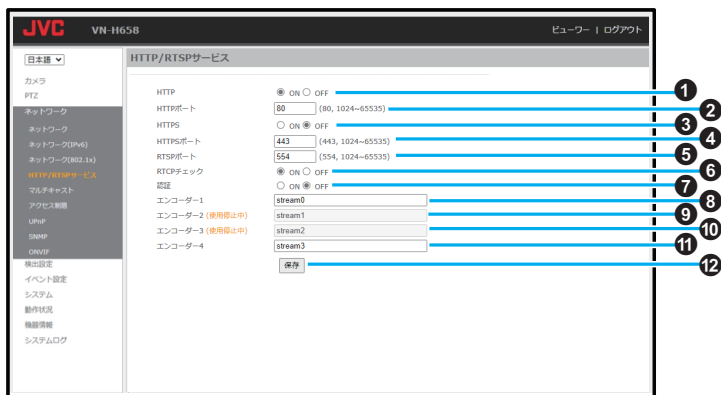
- [プロトコル]を“EAP-PEAP”に設定したときに、[サーバー証明書]が表示されます。

⑧ 保存

設定した内容を保存します。保存せずに他のページに移行すると設定内容は保存されません。

HTTP/RTSP サービス

HTTP ポート、RTSP ポート、その他関連する設定を行います。



設定値の●は工場出荷の値です。

① HTTP

HTTP の ON/OFF を設定します。
「設定値：●ON、OFF」

② HTTP ポート

HTTP ポートを設定します。初期設定のポート番号 80 の使用をおすすめしますが、変更が必要な場合はシステム管理者に問い合わせてください。
「設定値：●80、1024～65535」

③ HTTPS

HTTPS の ON/OFF を設定します。
「設定値：ON、●OFF」

④ HTTPS ポート

HTTPS ポートを設定します。
「設定値：●443、1024～65535」

⑤ RTSP ポート

RTSP ポートを設定します。
「設定値：●554、1024～65535」

⑥ RTCP チェック

RTCP キープアライブ機能 (RTSP クライアントソフトから返信される RTCP パケット (Receiver Report) のチェック機能) の ON/OFF を設定します。

「ON」:

受信した RTCP パケットのチェックを行います。クライアントの RTCP パケットが受信できなくなった場合、そのクライアントに対する配信を停止します。

「OFF」:

受信した RTCP パケットのチェックを行いません。クライアントの RTCP パケットが受信できなくなった場合でも、配信を継続します。

「設定値：●ON、OFF」

- RTCP パケットは特定の VMS (Video Management System) からカメラに対して送信されることがあります。

⑦ 認証

RTSP のリクエスト時に認証を行うかどうかを設定します。ON で認証を行います。

「設定値：ON、●OFF」

- ユーザー名、パスワードはブラウザにアクセスするときと同じです。

⑧ エンコーダー 1※

エンコーダー 1 のプロファイル名を設定します。

「初期値: stream0」

⑨ エンコーダー 2※

エンコーダー 2 のプロファイル名を設定します。

「初期値: stream1」

⑩ エンコーダー 3※

エンコーダー 3 のプロファイル名を設定します。

「初期値: stream2」

⑪ エンコーダー 4※

エンコーダー 4 のプロファイル名を設定します。

「初期値: stream3」

⑫ 保存

設定した内容を保存します。保存せずに他のページに移行すると設定内容は保存されません。

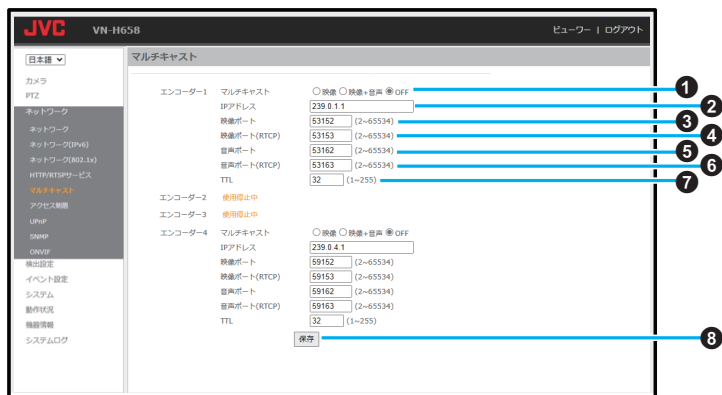
※エンコードページに表示されている RTSP URL とは別に rtsp://IP アドレス:RTSP ポート/プロファイル名でも RTSP のリクエストが可能です。半角英数文字 32 文字まで入力できます。各エンコーダーで同一の名前は設定できません。

ご注意:

- RTSP ポートを変更した場合、配信を要求する側の機器でも同様にポート指定を変更する必要があります。
-

マルチキャスト

各エンコーダーのマルチキャストの配信内容などを設定します。



● エンコーダー1~4 共通

設定値の●は工場出荷の値です。
工場出荷状態のエンコーダー2と3は「使用停止中」と表示され使用できません。

① マルチキャスト

マルチキャストの配信内容を設定します。

「映像」:

映像のみをマルチキャストで配信します。

「映像+音声」:

映像と音声をマルチキャストで配信します。

「OFF」:

マルチキャスト配信は行いません。

- 音声のみをマルチキャストで送信することはできません。

「設定値: 映像、映像+音声、●OFF」

② IP アドレス

マルチキャストの配信に使用する IP アドレスを設定します。

工場出荷値は下記のとおりです:

エンコーダー 1: 239.0.1.1

エンコーダー 2: 239.0.2.1

エンコーダー 3: 239.0.3.1

エンコーダー 4: 239.0.4.1

③ 映像ポート

マルチキャストの映像配信に使用するポート番号を設定します。

「設定値: 2~65534」

工場出荷値は下記のとおりです:

エンコーダー 1: 53152

エンコーダー 2: 55152

エンコーダー 3: 57152

エンコーダー 4: 59152

④ 映像ポート(RTCP)

マルチキャストの映像配信に使用する RTCP 用ポート番号を設定します。

「設定値: 2~65534」

工場出荷値は下記のとおりです:

エンコーダー 1: 53153

エンコーダー 2: 55153

エンコーダー 3: 57153

エンコーダー 4: 59153

⑤ 音声ポート

マルチキャストの音声配信に使用するポート番号を設定します。

「設定値:2~65534」

工場出荷値は下記のとおりです:

エンコーダー 1: 53162

エンコーダー 2: 55162

エンコーダー 3: 57162

エンコーダー 4: 59162

⑥ 音声ポート(RTCP)

マルチキャストの音声配信に使用する RTCP 用ポート番号を設定します。

「設定値:2~65534」

工場出荷値は下記のとおりです:

エンコーダー 1: 53163

エンコーダー 2: 55163

エンコーダー 3: 57163

エンコーダー 4: 59163

⑦ TTL

映像データを格納した UDP パケットの TTL の値を設定します。

「設定値:1~255(●32)」

⑧ 保存

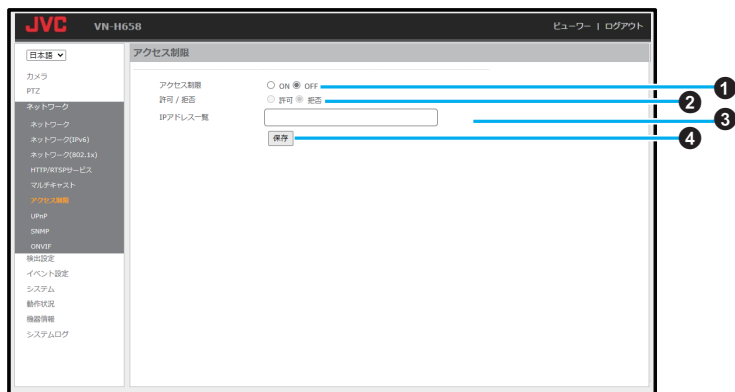
設定した内容を保存します。保存せずに他のページに移行すると設定内容は保存されません。

メモ: _____

- 本機のビューワーにはマルチキャスト配信を受信する機能はありません。マルチキャスト配信の映像や音声を受信するには、弊社製ネットワークデコーダー VN-D5 などのマルチキャスト配信を受信できる機器をご使用ください。
-

アクセス制限

クライアントの制限を設定します。



設定値の ● は工場出荷の値です。

① アクセス制限

選択することで、本機へアクセスするリストに登録した IP アドレス(クライアント)を制限できます。

「設定値: ON、●OFF」

② 許可 / 拒否

許可:

指定した IP アドレスからのアクセスだけを許可します。

拒否:

指定した IP アドレスからのアクセスを拒否します。

「設定値: 許可、●拒否」

- 許可と拒否の両方を同時に設定することはできません。

③ IP アドレス一覧

IP アドレス一覧に追加する IP アドレスを入力します。入力後にエンターキーを押すことで、IP アドレス一覧に登録されます。

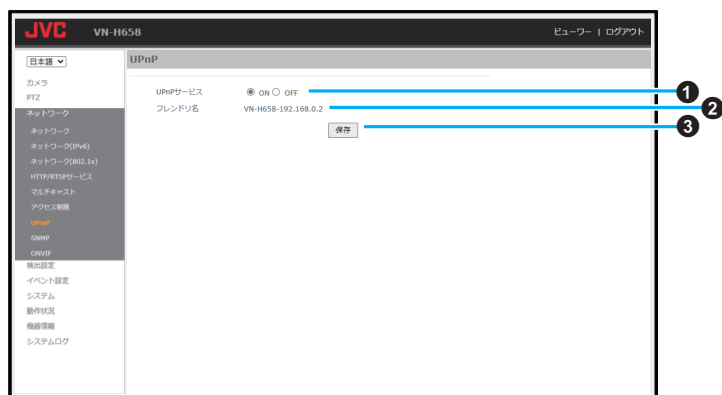
20 アドレスまで一覧に入力可能です。

④ 保存

設定した内容を保存します。保存せずに他のページに移行すると設定内容は保存されません。

UPnP

UPnP(ユニバーサル・プラグ&プレイ)サービスの有効/無効などを設定します。有効にすると LAN 接続されている UPnP に対応したパソコンが本機(カメラ)を自動的に認識します。



設定値の ● は工場出荷の値です。

① UPnP サービス

「ON」:

UPnP が有効です。

「OFF」:

UPnP が無効です。

「設定値: ●ON、OFF」

② フレンドリ名

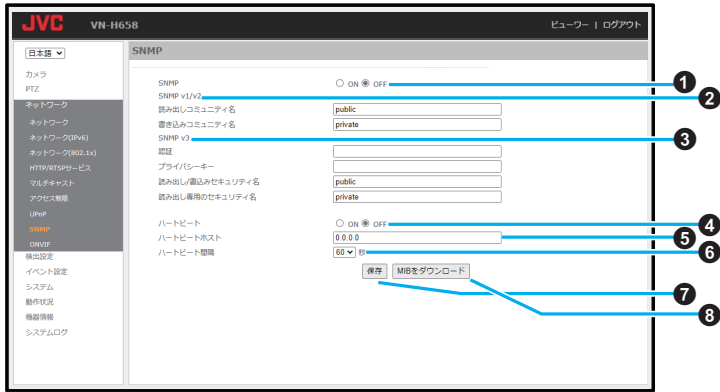
ネットワーク上に表示される本機の名称を表示します。カメラのモデル名と IP アドレスで構成され、変更することはできません。

③ 保存

設定した内容を保存します。保存せずに他のページに移行すると設定内容は保存されません。

SNMP

SNMP(簡易ネットワーク管理プロトコル)を設定します。SNMPは、アプリケーション層の上位に位置するインターネット標準のプロトコルで、ネットワークに接続されている機器を管理するための情報通信方法を定めています。ネットワーク機器を遠隔管理し、問題解決を容易にしています。



設定値の●は工場出荷の値です。

① SNMP

「ON」:
SNMPが有効です。
「OFF」:
SNMPが無効です。
「設定値: ON、●OFF」

② SNMP v1/v2

読み出しコミュニティ名
読み出しのみ可能なコミュニティ名を設定します。半角英数文字 36 文字まで入力できます。
「設定値: ●public」
書き込みコミュニティ名
読み書き可能なコミュニティ名を設定します。半角英数文字 36 文字まで入力できます。
「設定値: ●private」

③ SNMP v3

認証
パスワードを設定します。半角英数文字 36 文字まで入力できます。
「設定値: ●空欄」
プライバシーキー
プライバシーキーを設定します。半角英数文字 36 文字まで入力できます。
「設定値: ●空欄」

読み出し/書き込みセキュリティ名

読み書き可能なセキュリティ名を設定します。半角英数文字 36 文字まで入力できます。

「設定値: ●public」

読み出し専用のセキュリティ名

読み出しのみ可能なセキュリティ名を設定します。半角英数文字 36 文字まで入力できます。

「設定値: ●private」

④ ハートビート

「ON」:
ハートビート(死活監視)が有効です。
「OFF」:
ハートビート(死活監視)が無効です。
「設定値: ON、●OFF」

⑤ ハートビートホスト

ハートビートの送信先を設定します。半角英数文字 36 文字まで入力できます。
「設定値: ●0.0.0.0」

⑥ ハートビート間隔

ハートビートの送信間隔を設定します。
「設定値: 1~60(●60)秒」

⑦ 保存

設定した内容を保存します。保存せずに他のページに移行すると設定内容は保存されません。

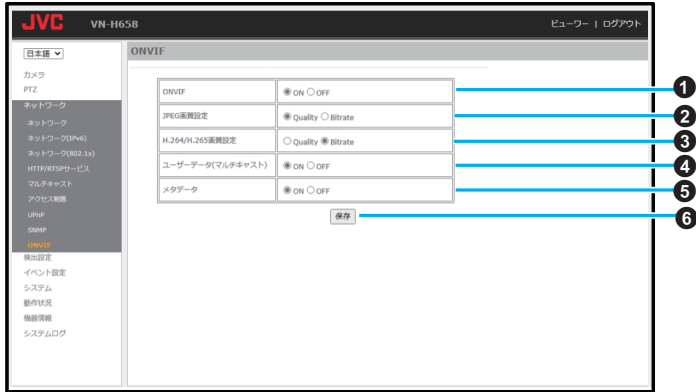
⑧ MIBをダウンロード

MIBのファイルが出力できます。

ONVIF

ONVIF の使用/不使用を設定します。

本機は、ONVIF (Open Network Video Interface Forum) に対応しています。ONVIF は監視機器を発見するプロトコル、監視機器の設定を取得・変更するプロトコル、映像音声データを送受信するプロトコルなどが標準化されています。



設定値の ● は工場出荷の値です。

① ONVIF

「ON」:

ONVIF を使用します。

「OFF」:

ONVIF を使用しません。

「設定値: ●ON、OFF」

- ONVIF が「ON」の場合、下記の項目が設定できます。

② JPEG 画質設定

JPEG ストリームの取得時に ONVIF で指定される画質設定のうち、「Quality」と「Bitrate」のどちらを優先するか選択します。

「設定値: ●Quality、Bitrate」

③ H.264/H.265 画質設定

H.264/H.265 ストリームの取得時に ONVIF で指定される画質設定のうち、「Quality」と「Bitrate」のどちらを優先するか選択します。

「設定値: Quality、●Bitrate」

④ ユーザーデータ(マルチキャスト)

「ON」:

マルチキャスト配信時にユーザーデータを付加します。

「OFF」:

マルチキャスト配信時にユーザーデータを付加しません。

「設定値: ●ON、OFF」

⑤ メタデータ

「ON」:

本機が配信するストリームにメタデータを付加します。

「OFF」:

本機が配信するストリームにメタデータを付加しません。

「設定値: ●ON、OFF」

⑥ 保存

設定した内容を保存します。保存せずに他のページに移行すると設定内容は保存されません。

検出設定

動き検出

あらかじめ設定した本機映像内の任意のゾーン(検出ゾーン)で発生した動きを感知する機能です。本機能は Home ポジションでのみ有効です。



設定値の ● は工場出荷の値です。

① 動き検出

「ON」:

動き検出の設定ができます。

「OFF」:

動き検出の設定はできません。

- 「ON」を選択するとマス目が表示され、検出ゾーンの選択が可能になります。また、「検出ゾーン解除」、「検出感度」の項目が表示され、設定などが可能になります。
- 検出ゾーンはビューワー上でクリックしたままドラッグして設定します。クリックによる検出ゾーンの単体設定/解除も可能です。
- 「OFF」を選択すると、マス目は消えます。
- [システム] - [システム情報] - [OSD 表示位置] - [イベント] (P.88) が指定されている場合、動き検出時に **M** を表示します。

「設定値: ON、●OFF」



設定値の●は工場出荷の値です。

② 検出感度

動き検出の検出感度が設定できます。

- 数字が大きくなるにつれて、わずかな動作や明るさの変化も検出しやすくなります。
「設定値:1~99(●85)」

③ 保存

設定した内容を保存します。保存せずに他のページに移行すると設定内容は保存されません。

④ 検出ゾーン解除

選択済みのゾーンをすべて解除します。このとき、画面上のマス目はそのまま残ります。

ご注意:

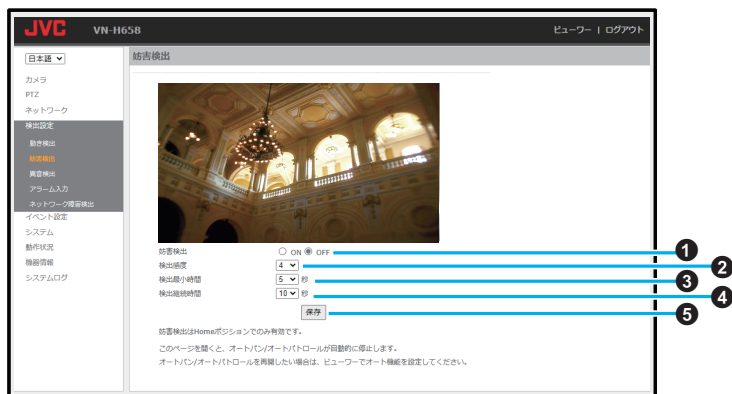
- 蛍光灯などのフリッカーにより動き検出の誤動作が発生する場合があります。
- 照明により明るさが変化する場合、動きとして検出される場合があります。
- 設置条件によっては検出できないときがあります。

メモ:

- ゾーン表示位置は目安です。必ず動作確認を行なってください。
- ズームした画面でのゾーン設定はできません。

妨害検出

明るさを含め、映像に大きな変化があった場合に、妨害として検出します。主に、レンズをふさがれたり、障害物を置かれたり、強い光をあてられたり、カメラの設置向きが変えられた場合を想定しています。本機能は Home ポジションでのみ有効です。



設定値の ● は工場出荷の値です。

1 妨害検出

「ON」:

妨害検出の設定ができます。

「OFF」:

妨害検出の設定はできません。

- [システム] - [システム情報] - [OSD 表示位置] - [イベント] (P.88) が指定されている場合、妨害検出時に **T** を表示します。

「設定値: ON、●OFF」

2 検出感度

妨害検出の検出感度が設定できます。

- 数字が大きいくほど、妨害を検出しやすくなります。

「設定値: 0~10(●4)」

3 検出最小時間

妨害が発生してから認識するまでの時間を設定します。妨害と判断できる映像が設定した時間以上継続する場合に検出します。

「設定値: ●5、10、15、20、25、30、35、40、45、50、55、60」秒

4 検出継続時間

設定した時間中の妨害発生を検出します。

「設定値: 5、●10、15、20、25、30、35、40、45、50、55、60」秒

5 保存

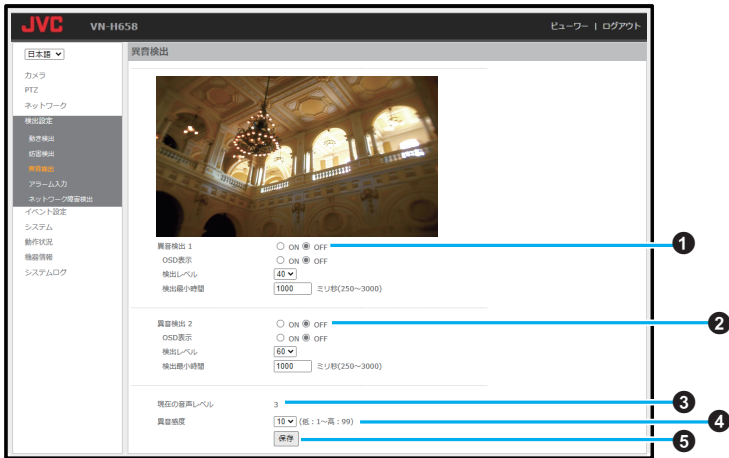
設定した内容を保存します。保存せずに他のページに移行すると設定内容は保存されません。

ご注意:

- 設置条件によっては検出できないときがあります。

異音検出

あらかじめ設定した音量や音の継続時間を超えた場合に異常を検出する機能です。



設定値の●は工場出荷の値です。

① 異音検出 1

「ON」:

異音検出 1 を有効にします。

「OFF」:

異音検出 1 を無効にします。

「設定値: ON、●OFF」

OSD 表示

「ON」:

異音検出時に **A1** を表示します。

「OFF」:

OSD を表示しません。

「設定値: ON、●OFF」

検出レベル

検出レベルを設定します。

数字が大きくなるほど、大きな音でないと検出
しません。

「設定値: 1~99(●40)」

検出最小時間

設定した時間より長く検出レベルを超えた音
が継続した場合に異音検出を行います。

「設定値: 250~3000(●1000)」

② 異音検出 2

「ON」:

異音検出 2 を有効にします。

「OFF」:

異音検出 2 を無効にします。

「設定値: ON、●OFF」

OSD 表示

「ON」:

異音検出時に **A2** を表示します。

「OFF」:

OSD を表示しません。

「設定値: ON、●OFF」

検出レベル

検出レベルを設定します。

数字が大きくなるほど、大きな音でないと検出
しません。

「設定値: 1~99(●60)」

検出最小時間

設定した時間より長く検出レベルを超えた音
が継続した場合に異音検出を行います。

「設定値: 250~3000(●1000)」

次のページへつづく

設定

③ 現在の音声レベル

現在の音声レベルを表示します。現在の音声レベルが検出レベルを上回ると検出します。

④ 異音感度

入力音声のゲインを調節します。

「設定値:1~99(●10)」

⑤ 保存

設定した内容を保存します。保存せずに他のページに移行すると設定内容は保存されません。

ご注意:

- 設置条件によっては検出できないときがあります。
-

アラーム入力

アラーム入力機器と本機との接続の有効/無効を設定します。



設定値の●は工場出荷の値です。

① アラーム入力 1

「ON」:

アラーム入力を有効にします。

「OFF」:

アラーム入力を無効にします。

- [システム] - [システム情報] - [OSD 表示位置] - [イベント] (P.88) が指定されている場合、アラーム入力時に **AD1** を表示します。

「設定値: ON、●OFF」

② アラーム入力 1 極性

アラーム入力の極性を「メイク」(ショートしたとき)と「ブレイク」(オープンしたとき)で切り替えます。

メイク:

接点がメイク時にアラーム入力イベントを発生します。

ブレイク:

接点がブレイク時にアラーム入力イベントを発生します。

上昇:

接点がブレイクからメイクに変化したときにアラーム入力イベントを発生します。

下降:

接点がメイクからブレイクに変化したときにアラーム入力イベントを発生します。

両方:

接点がブレイクからメイクまたはメイクからブレイクに変化したときにアラーム入力イベントを発生します。

「設定値: ●メイク、ブレイク、上昇、下降、両方」

次のページへつづく

③ アラーム入力 2

「ON」:

アラーム入力を有効にします。

「OFF」:

アラーム入力を無効にします。

- [システム]—[システム情報]—[OSD 表示位置]—[イベント](P.88)が指定されている場合、アラーム入力時に **AD2** を表示します。

「設定値: ON、●OFF」

④ アラーム入力 2 極性

アラーム入力の極性を「メイク」(ショートしたとき)と「ブレイク」(オープンしたとき)で切り替えます。

メイク:

接点がメイク時にアラーム入力イベントを発生します。

ブレイク:

接点がブレイク時にアラーム入力イベントを発生します。

上昇:

接点がブレイクからメイクに変化したときにアラーム入力イベントを発生します。

下降:

接点がメイクからブレイクに変化したときにアラーム入力イベントを発生します。

両方:

接点がブレイクからメイクまたはメイクからブレイクに変化したときにアラーム入力イベントを発生します。

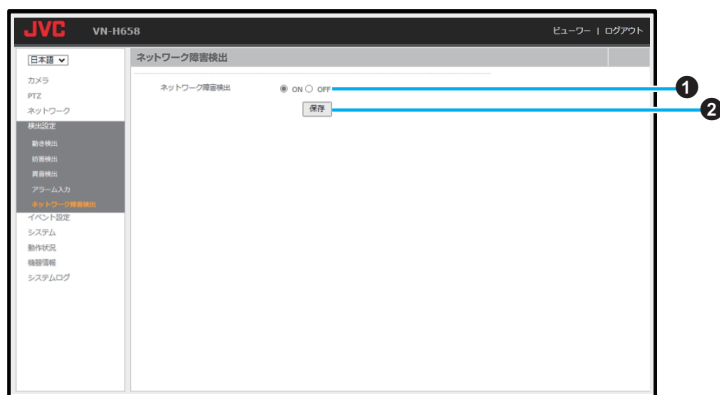
「設定値: ●メイク、ブレイク、上昇、下降、両方」

⑤ 保存

設定した内容を保存します。保存せずに他のページに移行すると設定内容は保存されません。

ネットワーク障害検出

本機とネットワークのリンク切れの検出を行います。



設定値の●は工場出荷の値です。

① ネットワーク障害検出

「ON」:

ネットワーク障害を検出します。

「OFF」:

ネットワーク障害を検出しません。

「設定値: ON、●OFF」

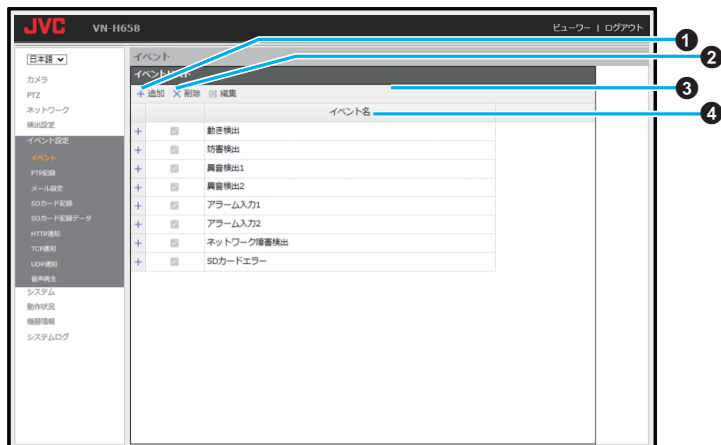
② 保存

設定した内容を保存します。保存せずに他のページに移行すると設定内容は保存されません。

イベント設定

イベント

動き検出や異音検出など、異常が検出されたときのユーザーへの通知方法や記録方法を設定します。



設定値の ● は工場出荷の値です。

※画面例はイベントを 8 個追加している状態のものであります。

1 追加

イベントを追加します。
イベントは最大 8 個まで作成できます。

2 削除

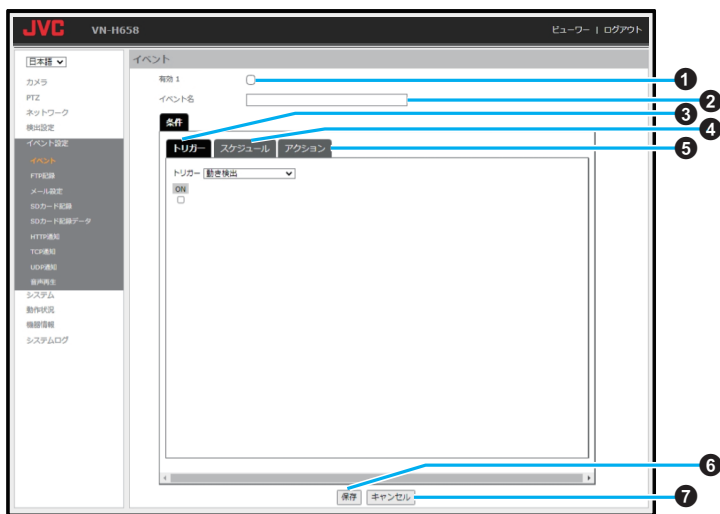
クリックすると、イベント名で選択したイベントを削除します。

3 編集

クリックすると、イベント名で選択したイベントの編集画面へ移動します。

4 イベント名

追加したイベントの一覧が表示されます。
イベントを編集・削除する際に選択します。



設定値の ● は工場出荷の値です。

1 有効

- チェックを入れることで編集対象のイベントは ON に設定されます。
チェックを入れるとイベントが有効になり、アクションの編集が可能になります。

2 イベント名

任意のイベント名を入力できます。
[設定値:● 空欄]

3 トリガー(P.64)

トリガーの編集画面が表示されます。
きっかけとなる異常検出を選択できます。

4 スケジュール(P.65)

スケジュールの編集画面が表示されます。
イベントを動作させる時間帯を設定できます。

5 アクション(P.66)

アクションの一覧が表示されます。
異常を検出した際に行われるアクションを設定します。

6 保存

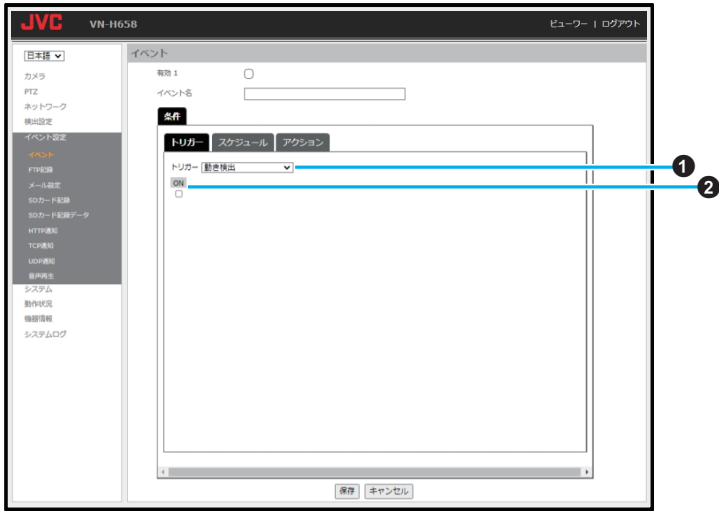
設定した内容を保存します。保存せずに他のページに移行すると設定内容は保存されません。

7 キャンセル

変更した値を変更前の値へ戻りたい場合にクリックしてください。なお、変更した他の項目も変更する前の設定値に戻ります。

設定

編集画面(トリガー)



① トリガー

きっかけとなる異常検出を選択できます。
「設定値:● 動き検出、妨害検出、異音検出 1、異音検出 2、アラーム入力 1、アラーム入力 2、ネットワーク障害検出、SD カードエラー」

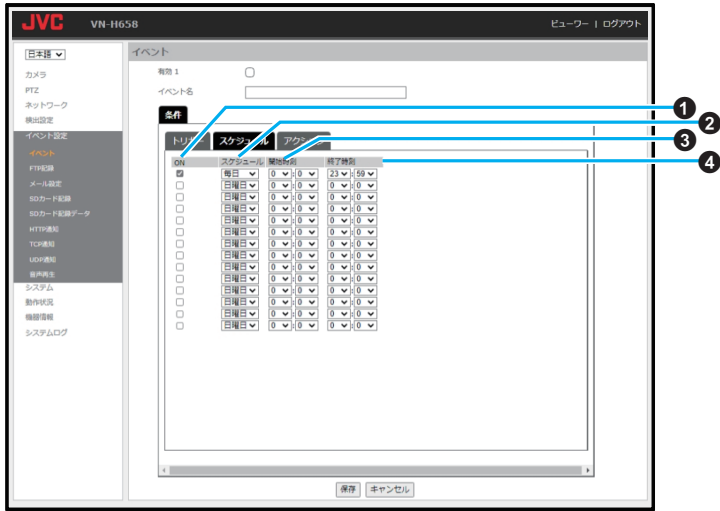
② ON

チェックを入れると選択したトリガーを有効にします。

ご注意:

- 1つのイベントに対して設定できるトリガーは1つのみです。

編集画面(スケジュール)



① ON

チェックを入れた時間帯にイベントを動作させます。

② スケジュール

イベントを動作させる曜日を設定できます。
「設定値: 日曜日、月曜日、火曜日、水曜日、木曜日、金曜日、土曜日、● 毎日」

③ 開始時刻

イベントの開始時刻を設定できます。
「設定値: ●0:00～23:59」

④ 終了時刻

イベントの終了時刻を設定できます。
「設定値: 0:00～●23:59」

メモ:

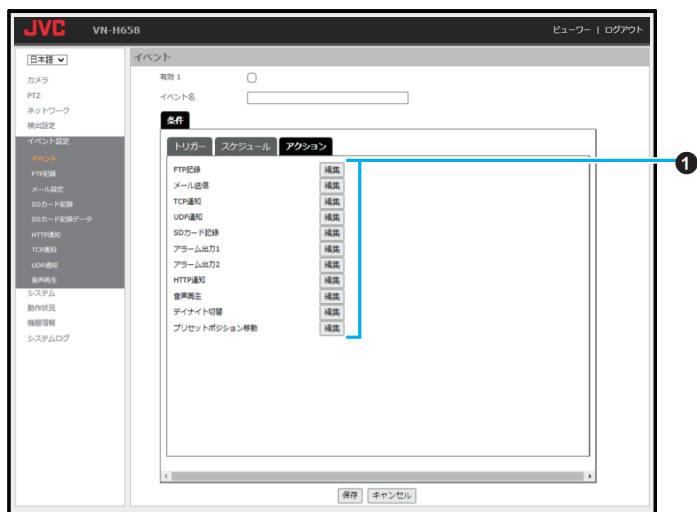
- 各イベントの編集画面で項目を設定、保存すると[イベント]のトップページの表に[✓]が表示されます。
- 設定の途中でトップページに戻りたい場合は、[キャンセル]をクリックします。
- メール送信または TCP 通知や HTTP 通知の JPEG 添付では、フレームレートや秒間の都合により、アクションが発生した時点よりも約 1 秒ずれた時刻の JPEG が添付されることがあります。

ご注意:

- イベントによるアクション実行中やアクション終了後 1 秒以内は、次のイベントを受け付けません。

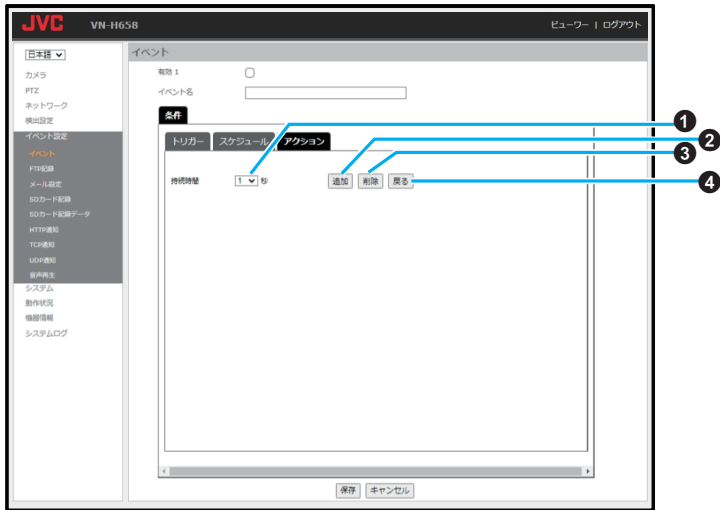
設定

編集画面(アクション)



① 編集

イベントが発生した際に行われるイベントアクションの編集画面に移動します。



- イベントにネットワーク障害検出を選択した場合は設定できません。

① 持続時間

イベント発生時から FTP 記録を継続する時間を選択します。
 「設定値: ●1、5、10、15、20、25、30、35、40、45、50、55、60」秒

② 追加

クリックするとイベントが発生したときにイベントアクションとして FTP 記録を行います。
 • FTP サーバーの設定は、FTP 記録ページ (P.77)で行います。

③ 削除

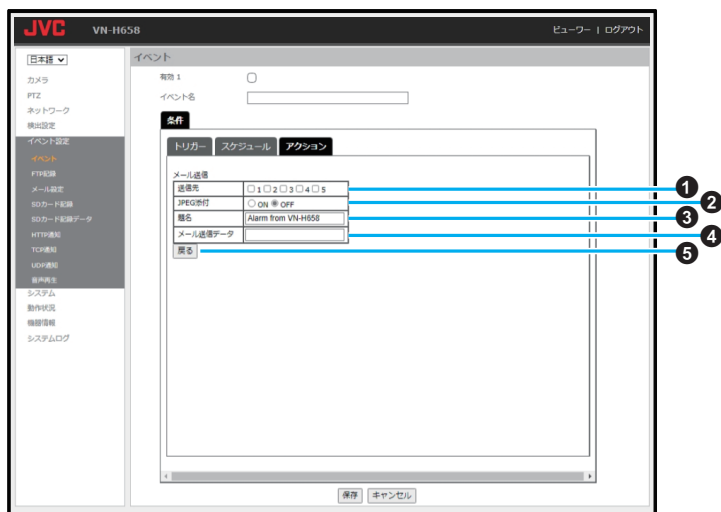
クリックすると本画面で追加したイベントアクションを削除します。

④ 戻る

クリックすると前の画面に戻ります。

設定

メール送信



設定値の●は工場出荷の値です。

- イベントにネットワーク障害検出を選択した場合は設定できません。

① 送信先

メール送信先の選択を行います。

- 宛先のメールアドレスの設定は、メール設定ページ(P.79)で行います。

② JPEG 添付

メールに JPEG 画像を添付するかどうかを選択します。

- 「ON」を選択するとイベント発生時の JPEG 画像 1 枚を添付します。

「設定値：ON、●OFF」

③ 題名

メールの題名が表示されます。

(例："Alarm from XXX ZZZ")

- XXX には本機のモデル名(VN-H658 または VN-H658WP)、ZZZ にはイベント名が記載されます。
- 最大文字数は 127 文字までです。日本語のみの場合は 42 文字、半角英数のみの場合は 127 文字までです。
- 工場設定値は「Alarm from 本機のモデル名 (VN-H658 または VN-H658WP)」です。

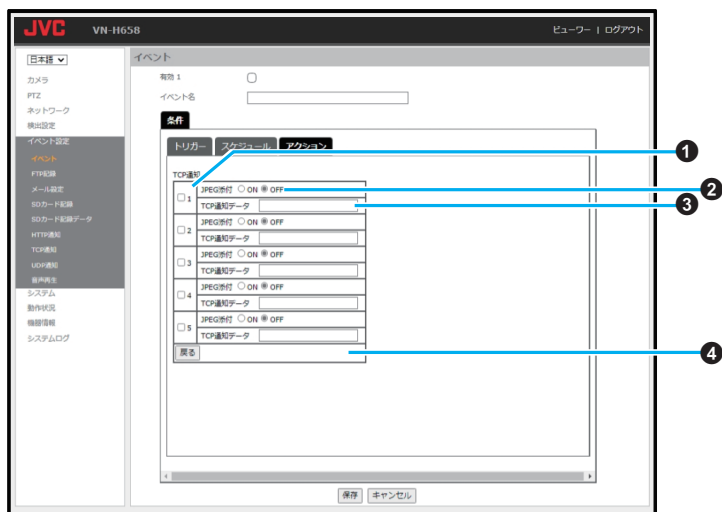
④ メール送信データ

メールの本文を入力します。

- 最大文字数は 127 文字までです。日本語のみの場合は 42 文字、半角英数のみの場合は 127 文字までです。
- 「設定値：● 空欄」

⑤ 戻る

クリックすると前の画面に戻ります。



設定値の●は工場出荷の値です。

- イベントにネットワーク障害検出を選択した場合は設定できません。

① TCP 通知

チェックを入れるとイベントが発生したときにイベントアクションとして TCP 通知を行います。

1～5

チェックを入れた宛先に TCP 通知を行います。

- 各宛先の IP アドレスまたは FQDN の設定は TCP 通知ページ(P.85)で行います。

② JPEG 添付

TCP 通知に JPEG 画像を添付するかどうかを選択します。

- 「ON」を選択するとイベント発生時の JPEG 画像 1 枚を添付します。
[設定値: ON、●OFF]

③ TCP 通知データ

TCP 通知で送るメッセージを記入します。

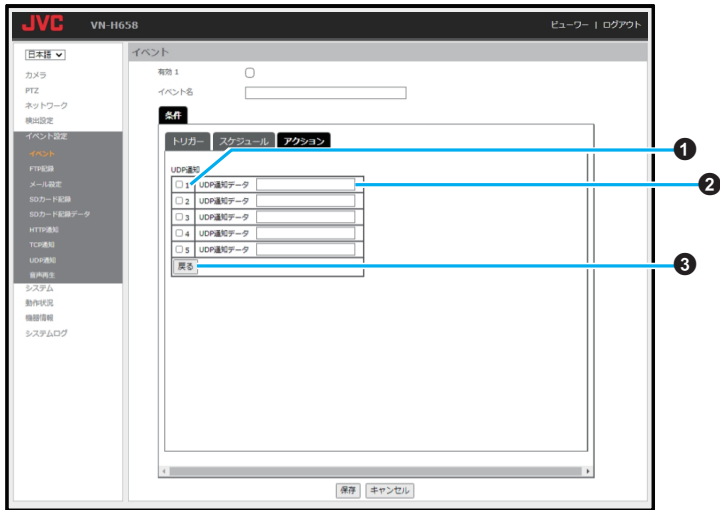
- 最大文字数は 127 文字までです。日本語のみの場合は 42 文字、半角英数のみの場合は 127 文字までです。
[設定値: ● 空欄]

④ 戻る

クリックすると前の画面に戻ります。

設定

UDP 通知



- イベントにネットワーク障害検出を選択した場合は設定できません。

① UDP 通知

1～5

チェックを入れた宛先に UDP 通知を行います。

- 各宛先の IP アドレスまたは FQDN の設定は UDP 通知ページ(P.86)で行います。

② UDP 通知データ

UDP 通知で送るメッセージを記入します。

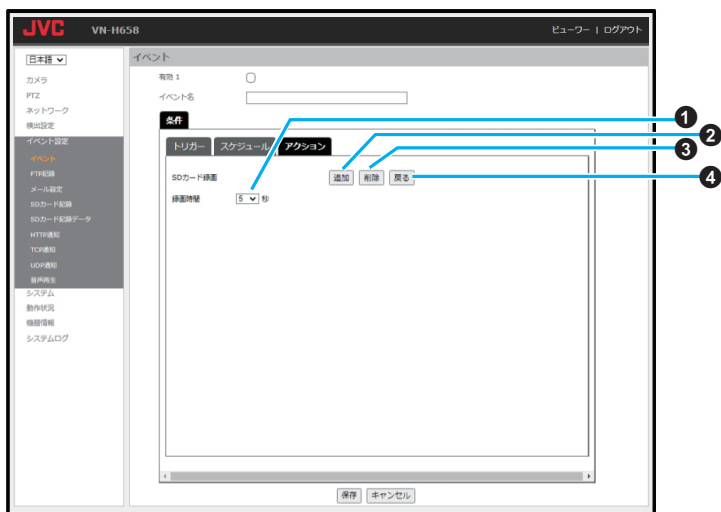
- 最大文字数は 127 文字までです。日本語のみの場合は 42 文字、半角英数のみの場合は 127 文字までです。

「設定値:● 空欄」

③ 戻る

クリックすると前の画面に戻ります。

SD カード記録



設定値の●は工場出荷の値です。

- イベントにSDカードエラーを選択した場合は設定できません。

① 録画時間

イベント発生時からSDカード記録を継続する時間を選択します。

「設定値: ●5、10、15、20、25、30、35、40、45、50、55、60」秒

② 追加

クリックするとイベントが発生したときにイベントアクションとしてSDカード記録を行います。

③ 削除

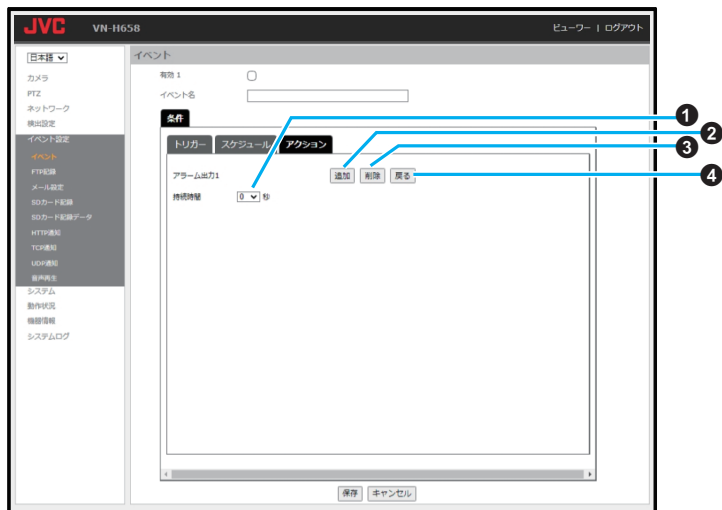
クリックすると本画面で追加したイベントアクションを削除します。

④ 戻る

クリックすると前の画面に戻ります。

設定

アラーム出力 1 / 2



画面例はアラーム出力 1 です。

① 持続時間

イベント発生時からアラーム出力を継続する時間を選択します。

「設定値: ●0、5、10、15、20、25、30、35、40、45、50、55、60」秒

② 追加

クリックするとイベントが発生したときにイベントアクションとしてアラーム出力を行います。

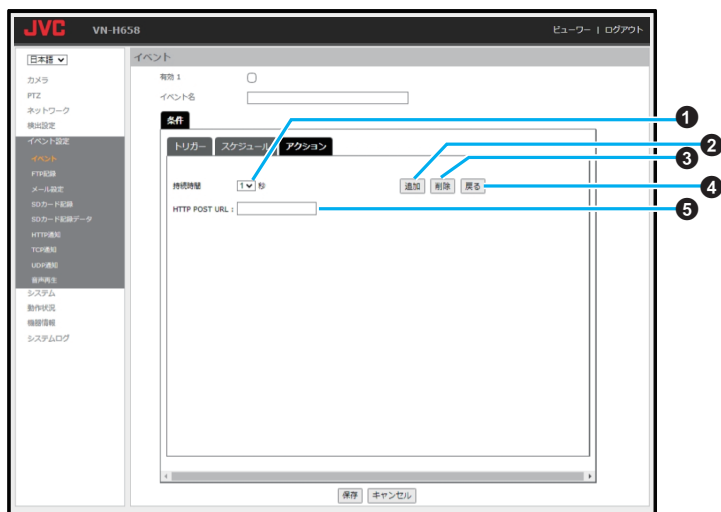
③ 削除

クリックすると本画面で追加したイベントアクションを削除します。

④ 戻る

クリックすると前の画面に戻ります。

HTTP 通知



① 持続時間

イベント発生時から HTTP 通知を継続する時間を選択します。
[設定値: ●1、2、3、4、5]秒

② 追加

クリックするとイベントが発生したときにイベントアクションとして HTTP 通知を行います。

③ 削除

クリックすると本画面で追加したイベントアクションを削除します。

④ 戻る

クリックすると前の画面に戻ります。

⑤ HTTP POST URL

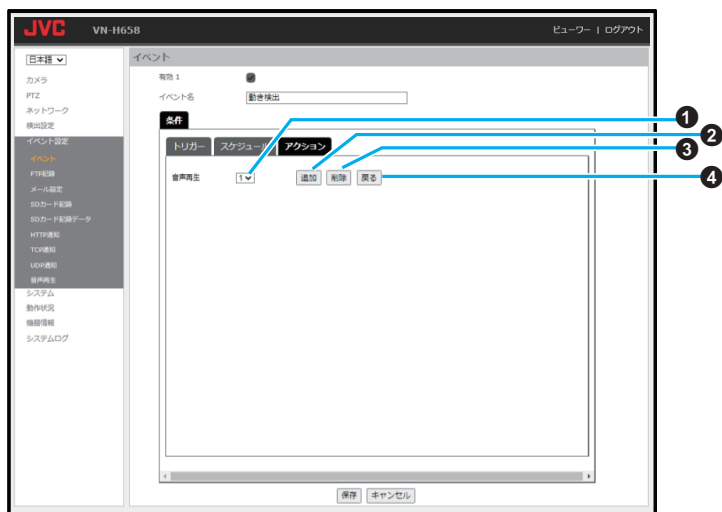
HTTP 通知のサーバーへの POST 先を設定します。
半角英数文字で 64 文字まで入力できます。
[設定値: ● 空欄]

メモ: _____

- HTTP POST URL に「?」や「&」などの記号を含める場合は、URL エンコードする必要があります。
「?」→「%3F」、「_」→「%5F」、「=」→「%3D」、「&」→「%26」
例:「api/param%3Fsystem.date%26system.model」
- `http://192.168.0.2/api/param?system.date&system.model` を送信する場合は、[HTTP 通知] - [HTTP POST サーバー] (P.84) に「192.168.0.2」、HTTP POST URL に「/api/param%3Fsystem.date%26system.model」を設定してください。

設定

音声再生



① 音声再生

指定した番号の音声ファイルを再生します。

- 音声ファイルの登録は、音声再生ページ (P.87)で行います。

「設定値:1~5(●1)」

② 追加

クリックするとイベントが発生したときにイベントアクションとして音声再生を行います。

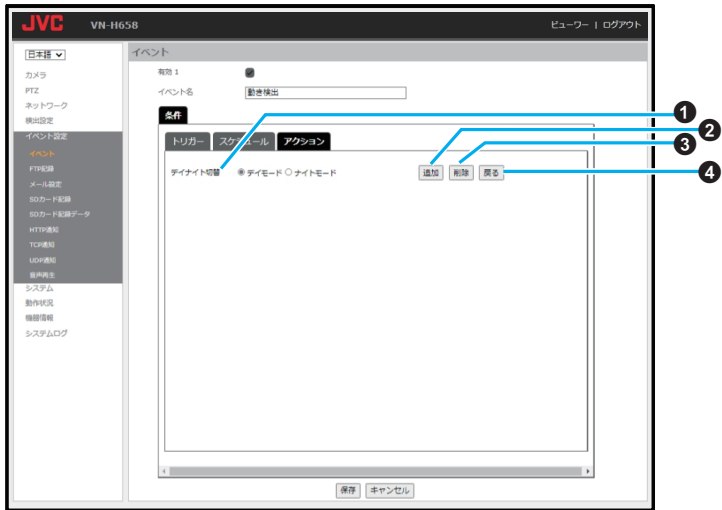
③ 削除

クリックすると本画面で追加したイベントアクションを削除します。

④ 戻る

クリックすると前の画面に戻ります。

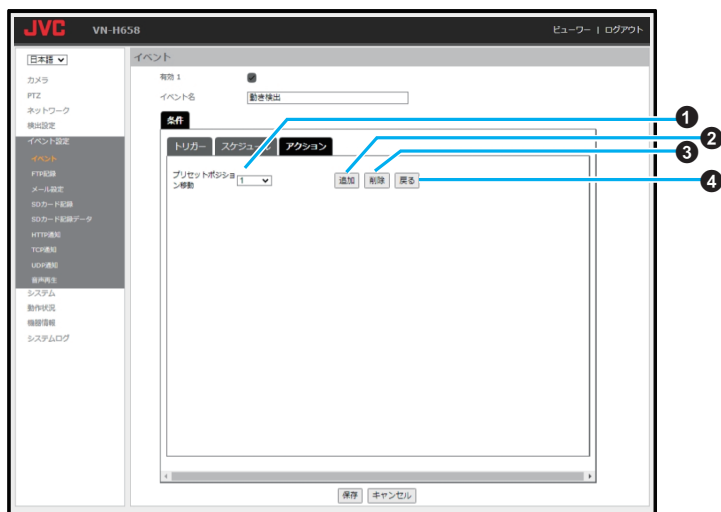
デイナイト切替



- 1 デイナイト切替**
デイモード/ナイトモード
イベント発生時のイベントアクションで、デイモード/ナイトモードのどちらに切り替えるかを選択します。
「設定値: ● デイモード、ナイトモード」
- 2 追加**
クリックするとイベントが発生したときにイベントアクションとしてデイナイト切り替えを行います。
- 3 削除**
クリックすると本画面で追加したイベントアクションを削除します。
- 4 戻る**
クリックすると前の画面に戻ります。

設定

プリセットポジション移動



- 1 プリセットポジション移動**
プリセットポジションの位置を指定します。
「設定値: Home、1～255(●1)」
- 2 追加**
クリックするとイベントが発生したときに、イベントアクションとして指定したプリセットポジションに移動します。
- 3 削除**
クリックすると本画面で追加したイベントアクションを削除します。
- 4 戻る**
クリックすると前の画面に戻ります。

FTP 記録

FTP の録画条件をあらかじめ設定しておくことで、FTP サーバーに映像を保存することができます。FTP 記録を使用するときは[カメラ]・[エンコード]の項でエンコーダー 4 のエンコードタイプを JPEG にしてください。(エンコーダー 4 のみ FTP 記録に使用できます。)



設定値の●は工場出荷の値です。

① FTP サーバー/FQDN

記録先の FTP サーバーの IP アドレスまたは FQDN を設定します。
半角英数文字で 30 文字まで入力できます。
[設定値:● 空欄]

② FTP サーバーポート

記録先の FTP サーバーポートを選択します。
[設定値:●21、1024～65535]

③ アカウント

FTP サーバーのアカウント名を設定します。
半角英数文字で 30 文字まで入力できます。
[設定値:● 空欄]

④ パスワード

FTP サーバーのパスワードを設定します。
半角英数文字で 30 文字まで入力できます。
[設定値:● 空欄]

⑤ ディレクトリ

FTP サーバー上の記録先フォルダーを設定します。
半角英数文字で 30 文字まで入力できます。

⑥ 接頭語

ファイル名の先頭に付ける文字列を設定します。
半角英数文字で 8 文字まで入力できます。
[設定値:● 空欄]

⑦ データフォーマット

データフォーマットを選択します。
• 記録するファイル名は、[接頭語+データフォーマット+接尾語]となります。
[設定値:●YYMMDD_hhmmss、
hh_mm_ss_MM_DD_YYYY、
MM_DD_hh_mm_ss_YY、
MM_DD_hh_mm_ss_YYYY、
YYMMDDhhmmss、YYYYMMDDhhmmss]

⑧ 接尾語

ファイル名の語尾に付ける文字列を設定します。
• 半角英数文字で 8 文字まで入力できます。
[設定値:● 空欄]

次のページへつづく

⑨ FTP 常時記録

「ON」:

常に FTP サーバーに JPEG の記録を行います。

「OFF」:

FTP サーバーへの常時記録を停止します。

- 「OFF」の状態で[イベント]のページのイベント名を選び編集するときに[アクション] - [FTP 記録]にチェックを入れた場合に、FTP 記録を行います。
- FTP 常時記録の場合、ファイル名は[接頭語 + データフォーマット + 接尾語 + _CONST] となり、最大 41 文字です。

「設定値: ON、●OFF」

⑩ FTP 常時記録間隔

FTP 常時記録時の JPEG 記録間隔を設定します。

「設定値: 1~65535(●1)」

⑪ 保存

設定した内容を保存します。保存せずに他のページに移行すると設定内容は保存されません。

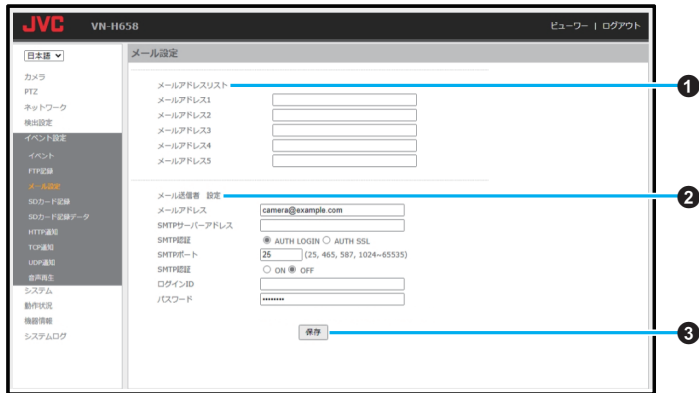
メモ:

- FTP 記録や JPEG 添付を利用するためにはエンコーダー 4 のエンコードタイプを JPEG に設定してください。
 - FTP 記録では、1 秒間に 1 枚の JPEG 画像が記録されますが、記録されるタイミングや環境により 1 枚多く記録されたり、間隔が 2 秒になったりすることがあります。
-

メール設定

メール送信するための設定を行います。

JPEG 添付を使用するときには[カメラ] - [エンコード]の項でエンコーダー 4 のエンコードタイプを JPEG にしてください。(エンコーダー 4 のみ JPEG 添付に使用できます。)



設定値の●は工場出荷の値です。

① メールアドレスリスト

メールアドレス 1~5

メールの送付先アドレスを設定します。

半角英数文字で 64 文字まで入力できます。

「設定値:● 空欄」

② メール送信者 設定

メールアドレス

メール差出元アドレスを設定します。

半角英数文字で 64 文字まで入力できます。

「設定値:●camera@example.com」

SMTP サーバーアドレス

SMTP サーバーの IP アドレスまたは FQDN を設定します。

半角英数文字で 64 文字まで入力できます。

「設定値:● 空欄」

SMTP 認証

SMTP の認証方式を選択します。

「設定値:●AUTH LOGIN、AUTH SSL」

SMTP ポート

SMTP サーバーのポートを設定します。

「設定値:●25、465、587、1024~65535」

SMTP 認証

ON にすると SMTP サーバーへの接続認証を行います。

「設定値:ON、●OFF」

ログイン ID

認証時に使用する ID を設定します。

半角英数文字で 64 文字まで入力できます。

「設定値:● 空欄」

パスワード

認証時に使用するパスワードを設定します。

半角英数文字で 32 文字まで入力できます。

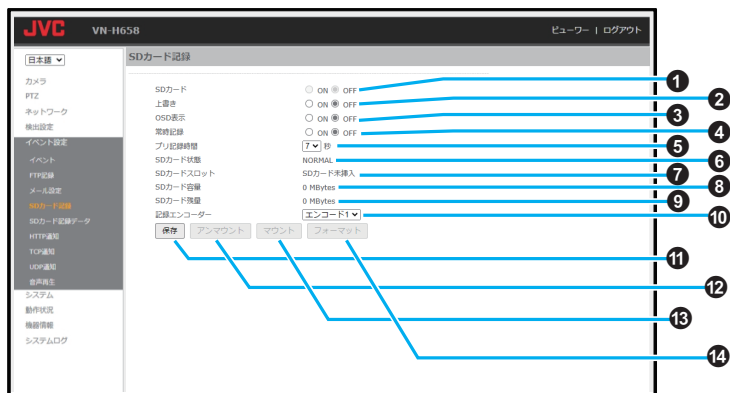
「設定値:● 空欄」

③ 保存

設定した内容を保存します。保存せずに他のページに移行すると設定内容は保存されません。

SD カード記録

撮影した映像は 1 つのエンコーダーに限って SD カードに保存することができます。JPEG では記録できません。SD カードを挿入してから、この機能を設定してください。



設定値の ● は工場出荷の値です。

① SD カード

「ON」:

SD カードを使用します。

「OFF」:

SD カードを使用しません。

「設定値: ON、●OFF」

② 上書き

「ON」:

上書きします。容量がなくなったら古い記録データから順に削除してループ記録を行います。

「OFF」:

上書きしません。容量がなくなったら記録は停止します。

「設定値: ON、●OFF」

③ OSD 表示

「ON」:

「システム」-「システム情報」-「OSD 表示位置」-「イベント」(P.88) が指定されている場合、SD カードの状態をアイコンで表示します。

● **SD** (黒色):

カードが無い(または認識できない)とき

● **SD** (青色):

カードがある(ただし記録中でない)とき

● **SD** (赤色):

記録中のとき

● **SD** (黄色):

記録中に何か問題が発生したとき

「OFF」: 表示しません。

「設定値: ON、●OFF」

④ 常時記録

「ON」:

常に SD カードへ記録します。1 分毎の動画ファイルが作成されます。

「OFF」:

常時記録を停止します。記録停止後も最長 1 分間は記録が続きます。

- [イベント]のページでイベント名を選び編集するとき[アクション]-[SD カード記録]にチェックを入れた場合に、SD カード記録を行います。

「設定値: ON、●OFF」

⑤ プリ記録時間

イベント発生前または常時記録開始前の映像を記録(プリ記録)する時間を設定します。設定した時間分だけ、常時記録の開始前とイベント発生によるイベントアクションでの記録開始前の映像が記録されます。

「設定値: 1、2、3、4、5、6、●7」秒

⑥ SD カード状態

SD カードの動作状態を表示します。

- NORMAL: 正常動作中
- WRITE ERROR: 書き込みができない状態のとき
- OPEN ERROR: ファイルが開けない状態のとき
- RECORDING: 録画中

⑦ SD カードスロット

SD カードの挿入状態を表示します。

- SD カード挿入
- SD カード未挿入

⑧ SD カード容量

SD カードの総容量を表示します。

⑨ SD カード残量

SD カードの残量を表示します。

⑩ 記録エンコーダー

記録に用いるエンコーダーを選択します。

- エンコードタイプが H.264/H.265 のエンコーダーを表示します。JPEG および OFF の時は表示されません。

「設定値: ●エンコード 1、エンコード 2、エンコード 3、エンコード 4」

⑪ 保存

設定した内容を保存します。保存せずに他のページに移行すると設定内容は保存されません。

⑫ アンマウント

SD カードをアンマウントします。

- SD カードをアンマウントしていると SD カードへの記録はできません。アンマウントを行うと、SD カード容量と SD カード残量が 0 MBytes になります。

⑬ マウント

- マウントを行うと、SD カード容量と SD カード残量に実際の容量が表示されます。

⑭ フォーマット

SD カードをクイックフォーマットします。

- SD カードは、必ず本機でクイックフォーマットしてから使用してください。
- クイックフォーマットを行うと、SD カードの状態が OFF(使用しない)になります。

メモ:

- 記録される動画のファイル形式は mp4 です。
- より正確な時刻で記録するために、時刻サーバー(SNTP サーバー)のご使用をおすすめします。
- 記録データには記録処理中のデータ(最新のデータ)も表示されますが、記録処理中のデータは、正しく保存や再生ができません。
- AUDIO IN 端子にマイクが接続されて音声入力(P.93)が ON になっている場合は音声も SD カードに記録することができます。

設定

● 本機で使用可能な SD カードについて

- Class10 以上対応の microSDHC/SDXC カードで動作保証温度 85°C 以上のもの
 - 事前に、本機で必ず microSD カードをフォーマットしてから使用してください。
 - 下記 SD カードは本機に接続して動作確認を行なっております。
 - SanDisk SDSQUAC-128G-JN3MA
 - SanDisk SDSQXAO-256G-JN3MD
 - SanDisk SDSQXAO-512G-JN3MD
 - TOSHIBA MSDAR40N128G
 - TOSHIBA MSDBR48N256G
 - TOSHIBA MUH-E256G
 - TOSHIBA MU-J256GX
 - JVC ケンウッド KNA-SD32A
- (高耐久 SD カード)
- SanDisk SDSQQVR-256G-JN3ID
 - ハギワラ MSDB-032GS
 - ハギワラ MSDB-064GS

※上記条件を満たす microSD カードすべての動作を保証するものではありません。

※本機に非対応の SD カードを使用した場合、記録設定できても正常に記録できない場合があります。

ご注意：

- SD カードを取り出すときは、[SD カード記録] を「OFF」にし、本機の電源を切って取り出してください。

● 記録時間の目安

記録時間の目安については、下記の表をご参照ください。(H.264/H.265、CBR 設定時の記録時間の目安です。)

(単位：時間)

ビットレート	容量		
	32GB	64GB	128GB
128 kbps	500	1000	2000
384 kbps	166	333	666
512 kbps	125	250	500
1024 kbps	62	125	250
2048 kbps	31	62	125

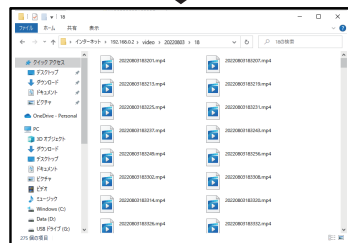
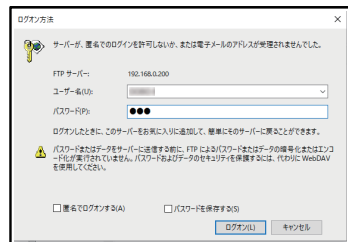
● SD カード記録中の FTP サーバーからのファイル保存について

Microsoft Edge で本機の FTP サーバーに接続すると、SD カード記録のファイルリストが表示されますので、対象のファイルを選択し、右クリックから「対象をファイルに保存」を選びパソコンに保存してください。

ファイルリストには記録処理中のファイル(最新のファイル)も表示されますが、記録処理中のファイルは、保存はできますが再生できません。

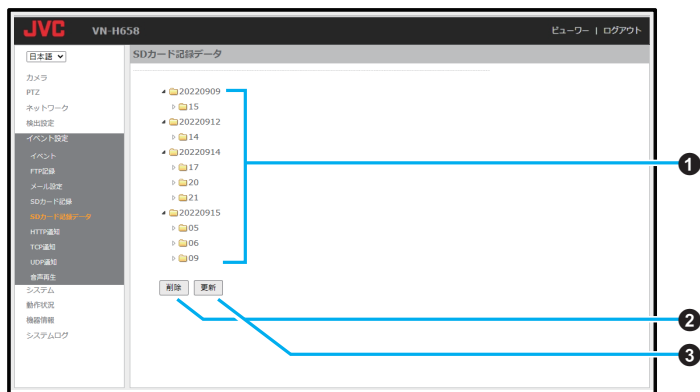
新しいファイルの記録処理が始まると記録処理中だったファイルの処理が完了しますので、記録処理中のファイルを保存したい場合は、ファイルの処理が完了してからファイルの保存を行なってください。

- FTP クライアントから SD カードに記録されている記録データの確認やダウンロードをすることができます。
- 下図は、エクスプローラーから FTP にアクセスした場合の表示例です。



SD カード記録データ

SD カードに記録されたデータの保存や再生ができます。



① 記録データリスト

記録データのリストが表示されます。

- 表示された記録データを左クリックすると、記録データを別ウィンドウにて再生することができます。
- FTP アクセスしてダウンロードすることも可能です。

② 削除

チェックボックスで選択した記録データを削除します。

③ 更新

記録データリストを最新の状態に更新します。

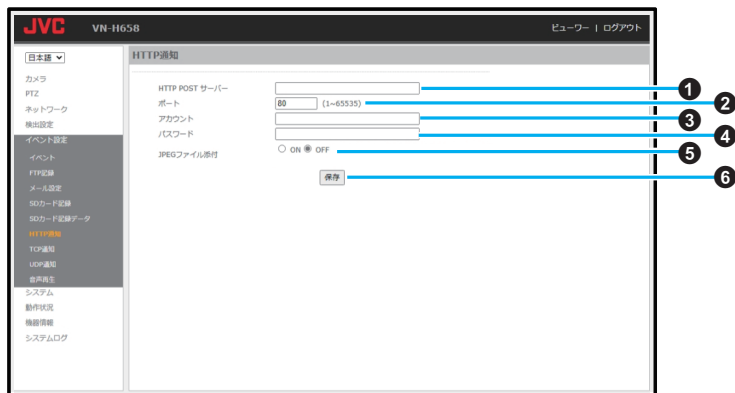
メモ：

- 記録日時を確認するには、ファイル名やフォルダー名を参照してください。記録データをダウンロードするとき、ダウンロードしたファイルのタイムスタンプが記録日時と異なる場合があります。実際の記録日時はファイル名で判断できますが、より明確に記録日時を判断したい場合は、映像上に OSD で日時表示して記録することをおすすめします。
- SD カード記録中に上書きが「ON」の場合、上書き実施時に古い記録ファイルを消去します。その際、記録日時フォルダーの更新日時が記録ファイルを消去した時刻に更新されます。

HTTP 通知

通知先の HTTP サーバーの設定をします。

JPEG 添付を使用するときは[カメラ] - [エンコード]の項でエンコーダー 4 のエンコードタイプを JPEG にしてください。(エンコーダー 4 のみ JPEG 添付に使用できます。)



設定値の●は工場出荷の値です。

① HTTP POST サーバー

POST 先の HTTP サーバーの IP アドレスまたは FQDN を設定します。
半角英数文字で 30 文字まで入力できます。
[設定値:● 空欄]

② ポート

HTTP サーバーのポートを設定します。
[設定値:1~65535(●80)]

③ アカウント

HTTP サーバーへの接続に使用するアカウント名を設定します。
半角英数文字で 30 文字まで入力できます。
[設定値:● 空欄]

④ パスワード

HTTP サーバーへの接続に使用するパスワードを設定します。
半角英数文字で 30 文字まで入力できます。
[設定値:● 空欄]

⑤ JPEG ファイル添付

イベント発生時の JPEG を添付するかしないかを選択します。
[ON]:
添付します。
[OFF]:
添付しません。
[設定値:ON、●OFF]

⑥ 保存

設定した内容を保存します。保存せずに他のページに移行すると設定内容は保存されません。

TCP 通知

[イベント]－[アクション]－[TCP 通知]で[TCP 通知データ]に入力された文字列を TCP IP アドレス/FQDN および TCP ポートで指定された送信先へ TCP で送信します。

The screenshot shows the JVC VN-H658 web interface. The left sidebar contains a menu with options like 'カメラ', 'FPE', 'ネットワーク', '輸出設定', 'イベント設定', 'イベント', 'FTP記録', 'メール設定', 'SDカード記録', 'SDカード記録データ', 'HTTP通知', 'TCP通知', 'UDP通知', '音声再生', 'システム', '動作状況', '機器情報', and 'システムログ'. The main area is titled 'TCP通知' and contains five numbered entries (No.1 to No.5). Each entry has two input fields: 'TCP IPアドレス/FQDN' and 'TCPポート'. The 'TCPポート' field has a range '(1-65535)' and a dropdown arrow. A '保存' (Save) button is located at the bottom of the form. Blue lines with circled numbers 1, 2, and 3 point to the first entry's fields and the save button respectively.

No.1～No.5 共通

通知先を 5 件まで設定できます。

① TCP IP アドレス/FQDN

TCP 通知の通知先を設定します。

「設定値: ● 空欄」

② TCP ポート

通知先の TCP ポートを設定します。

「設定値: 1～65535 (● 空欄)」

③ 保存

設定した内容を保存します。保存せずに他のページに移行すると設定内容は保存されません。

UDP 通知

[イベント]－[アクション]－[UDP 通知]で[UDP 通知データ]に入力された文字列を UDP IP アドレス/FQDN および UDP ポートで指定された送信先へ UDP で送信します。

The screenshot shows the JVC VN-H658 web interface. The left sidebar contains a menu with options like 'カメラ', 'PTZ', 'ネットワーク', '輸出設定', 'イベント設定', 'イベント', 'PTZ記録', 'メール設定', 'SDカード記録', 'SDカード記録データ', 'HTTP通知', 'TCP通知', 'UDP通知', 'IPアドレス', '音声再生', 'システム', '動作状況', '機器情報', and 'システムログ'. The main area is titled 'UDP通知' and contains five entries, each with a 'UDP IPアドレス/FQDN' field and a 'UDPポート' field. The 'UDPポート' field has a range '(1-65535)' and a dropdown arrow. A '保存' button is located at the bottom right. Three blue arrows with circled numbers 1, 2, and 3 point to the first entry's fields and the save button respectively.

No.1～No.5 共通

通知先を 5 件まで設定できます。

① UDP IP アドレス/FQDN

UDP 通知の通知先を設定します。

「設定値: ● 空欄」

② UDP ポート

通知先の UDP ポートを設定します。

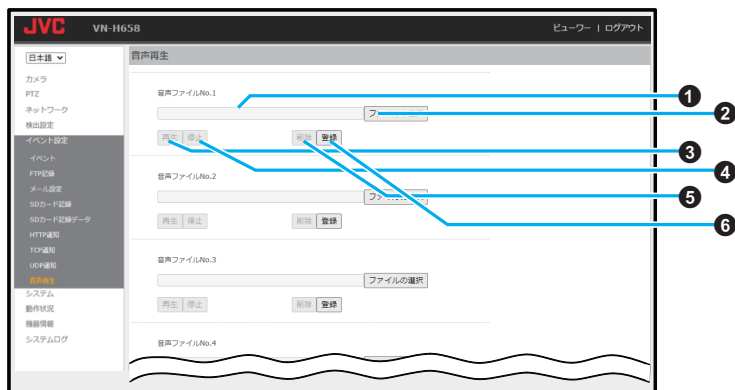
「設定値: 1～65535 (● 空欄)」

③ 保存

設定した内容を保存します。保存せずに他のページに移行すると設定内容は保存されません。

音声再生

カメラに音声ファイルを登録したり、登録した音声ファイルを再生、削除したりすることができます。



音声ファイル No.1～音声ファイル No.5

① ファイルの情報表示

音声ファイル名とファイルの再生時間を表示します。

- 音声ファイル登録時のみ表示されます。

② ファイルの選択

クリックするとファイルを選択する画面が表示されるので、そこから音声ファイルを選択します。

③ 再生

クリックすると登録してある音声ファイルをテスト再生します。

- 音声ファイル登録時のみ有効です。

④ 停止

テスト再生中にクリックすると再生を停止します。

- 音声ファイル登録時のみ有効です。

⑤ 削除

クリックすると登録済みのファイルを削除します。

⑥ 登録

[ファイルの選択]で選択した音声ファイルを登録します。

音声ファイルの仕様は下記のとおりです。

ファイルフォーマット	WAV
符号化方式	リニア PCM
サンプリング周波数	8 kHz
量子化ビット	16bit
チャンネル	モノラル
最大サイズ	10 秒(1 ファイルが 10 秒以下まで)

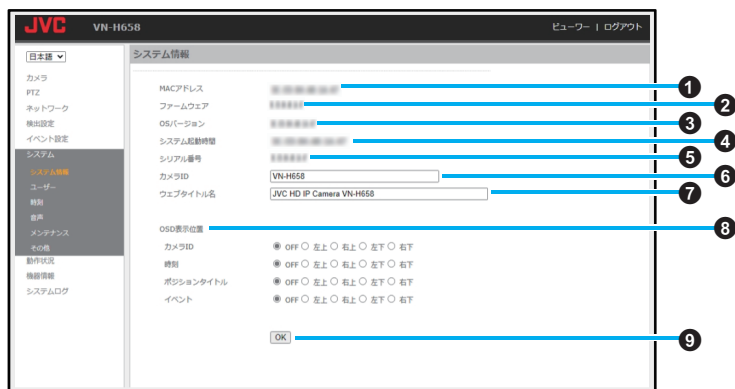
メモ：――

- 音声出力と音声再生が重なった場合、本機は音声出力を優先して動作します。

システム

システム情報

本機のシステム情報、ユーザー、時刻、音声、メンテナンスに関する設定が可能です。



設定値の●は工場出荷の値です。

- ① **MAC アドレス**
MAC アドレスが表示されます。
- ② **ファームウェア**
本機のソフトウェアバージョンが表示され
ます。
- ③ **OS バージョン**
本機の OS 名が表示されます。
- ④ **システム起動時間**
本機のシステム起動時刻が表示されま
す。
- ⑤ **シリアル番号**
本機のシリアル番号が表示されます。
- ⑥ **カメラ ID**
カメラ ID を設定します。
● 36 文字まで入力できます。(日本語も入力
できます。)
「設定値: ●VN-H658 または VN-H658WP」

- ⑦ **ウェブタイトル名**
ウェブタイトル名を設定します。
● 48 文字まで入力できます。(日本語も入力
できます。)
「設定値: ●JVC HD IP Camera VN-H658 また
は VN-H658WP」

⑧ OSD 表示位置(OSD:On-Screen Display)

カメラ ID

カメラ ID の表示位置を設定します。

「OFF」:非表示

「左上」:画面の左上に表示

「右上」:画面の右上に表示

「左下」:画面の左下に表示

「右下」:画面の右下に表示

「設定値」:●OFF、左上、右上、左下、右下

時刻

時刻の表示位置を設定します。

「OFF」:非表示

「左上」:画面の左上に表示

「右上」:画面の右上に表示

「左下」:画面の左下に表示

「右下」:画面の右下に表示

「設定値」:●OFF、左上、右上、左下、右下

ポジションタイトル

ポジションタイトルの表示位置を設定します。

「OFF」:非表示

「左上」:画面の左上に表示

「右上」:画面の右上に表示

「左下」:画面の左下に表示

「右下」:画面の右下に表示

「設定値」:●OFF、左上、右上、左下、右下

イベント

イベントが発生したときに通知する OSD の表示位置を設定します。

「OFF」:非表示

「左上」:画面の左上に表示

「右上」:画面の右上に表示

「左下」:画面の左下に表示

「右下」:画面の右下に表示

「設定値」:●OFF、左上、右上、左下、右下

メモ: _____

- 画面上で表示可能な文字数は下記のとおりです。
1920x1080 28 文字、1280x960 24 文字、
1280x720 24 文字、640x480 24 文字、
640x360 24 文字、320x240 17 文字
 - 画面上では半角文字と全角文字が同じ幅になります。
-

⑨ 保存

設定した内容を保存します。保存せずに他のページに移行すると設定内容は保存されません。

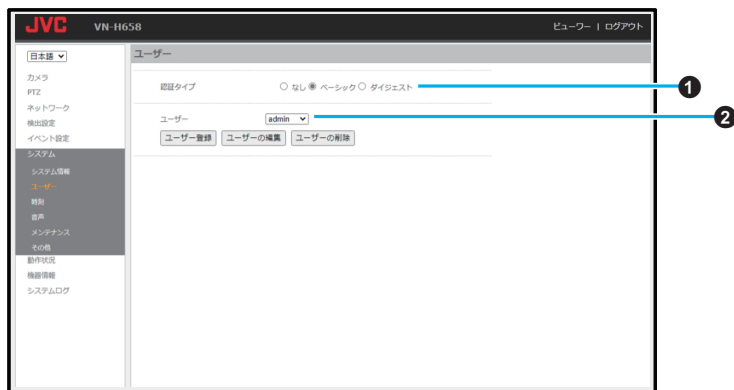
ご注意: _____

- カメラ ID/時刻/ポジションタイトル/イベントは同じ位置には設定できません。
-

設定

ユーザー

本機の利用者の登録や登録内容の変更、削除を設定します。



設定値の●は工場出荷の値です。

① 認証タイプ

ログイン時の認証方法を設定できます。
「なし」に設定するとログイン認証なしで本機にアクセスできます。
「設定値:なし、●ベーシック、ダイジェスト」

② ユーザー

ユーザーの一覧が表示されます。

ユーザー登録

クリックすると新規ユーザーの追加メニューが表示されます。



ユーザーの編集

クリックすると[ユーザー]で選択したユーザーの編集を行うメニューが表示されます。



ユーザーの削除

クリックすると[ユーザー]で選択したユーザーの削除を行います。

- admin 権限の初期ユーザーは削除できません。

● ユーザー登録/ユーザーの編集共通

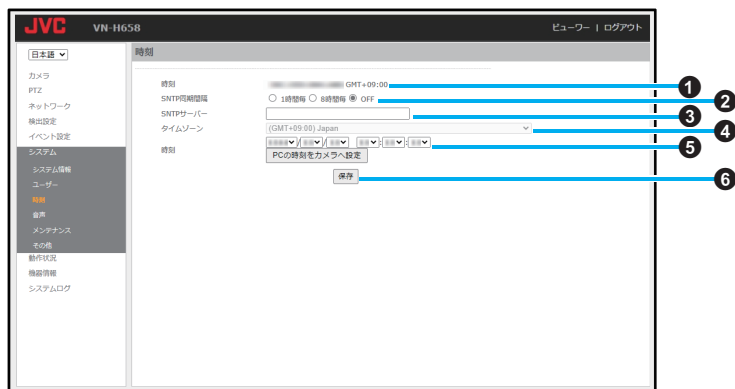
The screenshot shows a web form for user registration or editing. At the top, there are radio buttons for 'なし' (None), 'ベーシック' (Basic), and 'ダイジェスト' (Digest). Below this, there are input fields for 'ユーザー' (User), '新しいパスワード' (New Password), and 'パスワード再入力' (Password Re-entry). A section for 'アクセス権' (Access Rights) contains radio buttons for 'admin', 'operator', and 'user'. At the bottom, there are two buttons: '保存' (Save) and 'キャンセル' (Cancel). Blue lines with numbered circles (1-6) point to the following elements: 1. User name input field; 2. New password input field; 3. Password re-entry input field; 4. Access rights radio buttons; 5. Save button; 6. Cancel button.

- ① **ユーザー名**
ユーザー名を設定します。10 ユーザーまで設定
できます。
半角英数文字で 36 文字まで入力できます。
- ② **新しいパスワード**
パスワードを設定します。
半角英数文字で 36 文字まで入力できます。
- ③ **パスワード再入力**
上記のパスワードを入力します。
- ④ **アクセス権**
ユーザーに付加するアクセス権を選択します。
「admin」:
すべての操作および設定変更が可能です。
「operator」:
設定ページへのアクセスができなくなります。
「user」:
設定ページへのアクセスができなくなり、
ビューワー上のアイコンがすべて非表示にな
ります。
「設定値: ●admin、operator、user」
- ⑤ **保存**
設定した内容を保存します。保存せずに他の
ページに移行すると設定内容は保存されませ
ん。
- ⑥ **キャンセル**
選択した内容をすべてキャンセルします。

設定

時刻

時刻の設定をします。



設定値の●は工場出荷の値です。

① 時刻

本機に設定されている時刻とタイムゾーンを表示します。

② SNTP 同期間隔

時刻合わせをする間隔を設定します。「OFF」は手動での設定になります。
「設定値: 1 時間毎、8 時間毎、●OFF」

③ SNTP サーバー

SNTP サーバーの IP アドレスまたは FQDN を設定します。半角英数文字で 63 文字まで入力できます。
「設定値: ● 空欄」

④ タイムゾーン

タイムゾーンを設定します。
● [SNTP 同期間隔]が「OFF」の場合はグレースアウトして選択できません。

⑤ 時刻

手動で時刻を設定します。
● [SNTP 同期間隔]が「OFF」の場合のみ設定できます。

PC の時刻をカメラに設定

クリックするとパソコンから時刻を取得し同期します。
● 取得した時刻は、[保存]ボタンをクリックしなくても即時反映されます。
● [保存]ボタンをクリックすると、手動の時刻設定で日時が再設定されます。

⑥ 保存

設定した内容を保存します。保存せずに他のページに移行すると設定内容は保存されません。

ご注意:

- 時刻が初期化された場合は、時刻の設定を行なってください。
- 時刻を設定しなかった場合や補正を行わない場合、ログ、SD カード記録およびメール送信の時刻情報が正しく表示されません。

音声

音声の入出力の有効無効や音量、入出力方法など音声に関する設定をします。



設定値の●は工場出荷の値です。

① 音声入出力

「ON」:

音声の入出力を有効にします。

「OFF」:

音声の入出力を無効にします。

「設定値: ●ON、OFF」

② 音量(音声入力)

音声入力の音量を設定します。数字が大きくなるほど、音量が上がります。

「設定値: 1~100(●50)」

③ 音声入力ゲイン

音声入力のゲインを設定します。

「設定値: ●0dB、+20dB、+26dB、+32dB」

④ 音量(音声出力)

音声出力の音量を設定します。数字が大きくなるほど、音量が上がります。

「設定値: 1~100(●50)」

⑤ 音声フォーマット

音声フォーマットを設定します。

「設定値: ●G.711 u-law、AAC」

⑥ 通信方式

音声の通信方式を設定します。

- 「半二重」に設定した場合、パソコンから本機へ音声を送信している間は、本機からパソコンへ送信される音声が消されます。

- 「全二重」に設定した場合、本機からパソコンへ送信される音声を聞きながら、パソコンから本機に音声を送信できます。

「設定値: ●半二重、全二重」

⑦ マイク電源供給

「ON」:

AUDIO IN に接続したマイクなどに電源供給します。

「OFF」:

電源供給しません。

「設定値: ●ON、OFF」

⑧ 保存

設定した内容を保存します。保存せずに他のページに移行すると設定内容は保存されません。

音声入出力の「ON/OFF」を切り替えて設定を保存すると本機は再起動を行ないません。

次のページへつづく

設定

メモ: _____

音声入力/音声出力について

- 工場出荷状態では音声が無効(OFF)に設定されており、ビューワーの音声入力アイコン(🔊)をクリックすると、AUDIO IN から入力された音声が入力され、AUDIO OUT から出力されます。また、HTTPS で接続した場合、ビューワーの音声出力アイコン(🔊)をクリックするとパソコンに接続したマイクから入力された音声が入力され、AUDIO OUT から出力されます。音声入出力を使用しない場合は、音声を無効(OFF)に設定してください。音声フォーマットが「G.711 u-law」の場合、サンプリングレートは 8000Hz 固定です。音声フォーマットが「AAC」の場合、サンプリングレートは 32000Hz 固定です。
-

メンテナンス

ファームウェアのアップデートや再起動などをします。



設定値の●は工場出荷の値です。

① ファームウェアの更新

ファイルの選択

クリックして、アップデートファイルを選択します。

更新

クリックするとアップデートを開始します。ファイルが参照されていない場合は、エラーポップアップを表示します。

工場出荷設定を行う

チェックを付けてから[更新]ボタンをクリックしてアップデートを行うと、アップデートとともに⑧の選択に基づいた工場出荷設定への設定値初期化も行います。

② 設定のエクスポート

クリックすると設定ファイルのダウンロードを行います。

③ 設定のインポート

ファイルの選択

クリックして、インポートする設定ファイルを選択します。

インポート

クリックすると設定ファイルをインポートします。

- ファイルが参照されていない場合は、エラーポップアップを表示します。

④ オートクリーニング

システム起動日から起算して指定した間隔で電源や信号の伝達を行う部品のクリーニングを行います。クリーニングが終わったあとは、クリーニングを行う前のパンとチルト位置に戻ります。

「設定値：●7日毎、1日毎、OFF」

⑤ オートクリーニング時刻

オートクリーニングを実行する時刻を設定します。

「設定値：●02:00、0～23:0～59」

⑥ 保存

オートクリーニングの設定した内容を保存します。

次のページへつづく

設定

7 システム再起動

[再起動]ボタンをクリックすると本機を再起動します。

8 工場出荷設定

ネットワーク設定を除外して工場出荷値に戻すか、すべてを工場出荷値に戻すかを選択します。

ネットワーク設定は下記のページです。

- ネットワークページ(P.41)
- ネットワーク(IPv6)ページ(P.43)
- ネットワーク(802.1x)ページ(P.44)
- HTTP/RTSP サービスページ(P.46)
- マルチキャストページ(P.48)

〔設定値:● ネットワーク設定を含まない、全て工場出荷時の設定に戻す〕

9 初期化

[初期化]ボタンをクリックすると本機を初期化します。

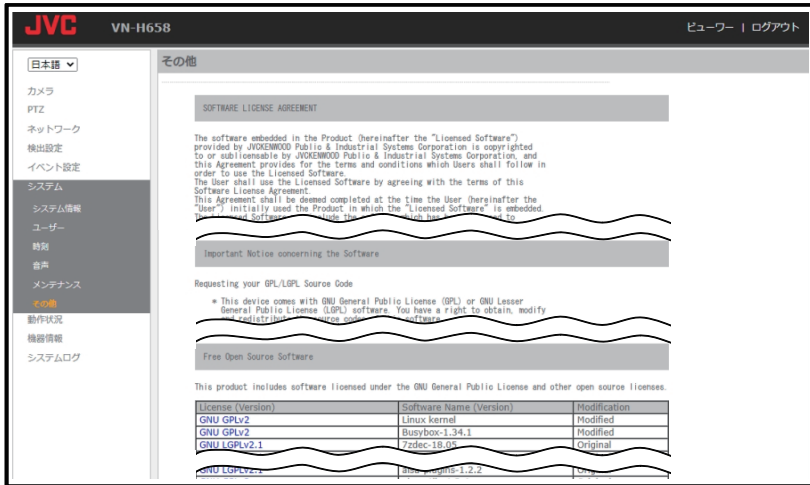
- 時刻は初期化されません。

ご注意:

- [設定のエクスポート]よりエクスポートした設定ファイルは、本機専用のファイルです。設定ファイルは各モデルで異なります。他のモデルにインポートしないでください。また、他のモデルよりエクスポートした設定ファイルを、本機にインポートしないでください。
 - エクスポートしたファイルは、エクスポート時のデフォルトファイル名のままインポートしてください。ファイル名を変更すると、インポートすることができません。
 - インポートの機能において、下記の項目はインポートされません。
 - ネットワークページのすべての設定(P.41)
 - ネットワーク(IPv6)ページのすべての設定(P.43)
 - HTTP/RTSP サービスページのHTTPポートとRTSPポートの設定(P.46)
 - 音声再生ページのすべての設定(P.87)
 - システムログページのすべての情報(P.100)
 - シリアルナンバー/MAC アドレスの情報
-

その他

ソフトウェアライセンス許諾、ソフトウェアに関する重要なお知らせや本機に含まれるフリーオープンソースコードソフトウェア (FOSS) の情報が表示されます。



The screenshot displays the JVC VN-H658 user interface. The top left shows the JVC logo and model number 'VN-H658'. The top right has 'ビューワー | ログアウト'. A left sidebar contains a language dropdown set to '日本語' and a menu with items: カメラ, PTZ, ネットワーク, 機出設定, イベント設定, システム, システム情報, ユーザー, 時刻, 音声, メンテナンス, **その他**, 動作状況, 機器情報, システムログ. The main content area is titled 'その他' and contains the following sections:

- SOFTWARE LICENSE AGREEMENT**: A text block containing legal terms of use for the software.
- Important Notice concerning the Software**: A section with a wavy border below it.
- Requesting your GPL/LGPL Source Code**: A section with a wavy border below it, containing a bullet point: "This device comes with GNU General Public License (GPL) or GNU Lesser General Public License (LGPL) software. You have a right to obtain, modify and distribute the source code of the software."
- Free Open Source Software**: A section with a wavy border below it.
- This product includes software licensed under the GNU General Public License and other open source licenses.**: A table listing the included software.

License (Version)	Software Name (Version)	Modification
GNU GPLv2	Linux kernel	Modified
GNU GPLv2	Busybox-1.34.1	Modified
GNU LGPLv2.1	7zdec-18.05	Original
GNU LGPLv2.1	libusb-1.2.2	Original

動作状況

本機で配信しているストリームのビットレートや配信先を表示します。



① 総配信ビットレート

Total:

本機で配信しているストリームの合計ビットレートを表示します。

TCP:

TCP で配信しているストリームの合計ビットレートを表示します。

UDP:

UDP で配信しているストリームの合計ビットレートを表示します。

② 配信先

Send Count: 配信本数を表示します。

あわせて、配信先の IP アドレスとエンコードタイプを表示します。

メモ:

- このページは、定期的に最新の情報に更新されます。
- API を使用して音声配信している場合、配信先の **Send Count** として含まれるので映像とは別にカウントされます。その場合、音声は H.264/H.265 または JPEG として表示されます。API は弊社周辺機器などで使用する通信コマンドです。詳細については担当の営業にお問い合わせください。

機器情報

各設定の設定値を表示します。

The screenshot displays the JVC VN-H658 web interface. The top header includes the JVC logo, the model number 'VN-H658', and the user status 'ビューワー | ログアウト'. A left sidebar contains a navigation menu with the following items: 日本語 (selected), カメラ, PTZ, ネットワーク, 映出設定, イベント設定, システム, 動作状況, 機器情報 (highlighted), 機器情報 (highlighted), and システムログ. The main content area is titled '機器情報' and features a section for 'エンコード' (Encoding). This section contains two tables of settings for Encoder 1 and Encoder 4. Encoder 2 and Encoder 3 are shown as '使用中' (In Use).

エンコード	
H.264プロファイル	High
エンコーダー2	OFF
エンコーダー3	OFF

エンコーダー1	
エンコードタイプ	H.265
フレームサイズ	1920x1080
フレームレート	30
Iフレーム間隔	30
ビットレート制御	CBR
ビットレート	4096 kbps
RTSP URL	rtsp://*****/ONVIF/Streaming/channels/0

エンコーダー2	使用中
---------	-----

エンコーダー3	使用中
---------	-----

エンコーダー4	
エンコードタイプ	H.265
フレームサイズ	640x360

システムログ

ログに関する情報を表示します。



① ログページ

ログ表示のページの切り替えを行います。80ページまで表示できます。

Number(表示画面左側の数字)

ログ情報の連番で、2000 ログまで表示できません。

ソース側の IP アドレス

ソース側の IP アドレスを表示します。

ユーザー情報(表示画面では admin)

ユーザーのアクセス権を表示します。

時刻(表示画面では「2022/08/04 10:20:40 など」)

ログの時刻を表示します。

動作(表示画面では STREAM LOGOUT など)

アクション・事柄を表示します。

② ログのダウンロード

クリックするとログをテキスト形式でまとめてダウンロードします。

こんなときは

映像が出ない

- 原因 ① クライアントパソコンが HTTP で本機へアクセスする場合のポート番号の指定は合っていますか？
(ポート番号が間違っている場合は、接続できません。)
- ② Microsoft Edge を使用していますか？
- ③ 動作状況ページの配信先が 20 を超えていませんか？
- 対応 ① ブラウザーの HTTP ポートの値に、本機の[ネットワーク] - [HTTP/RTSP サービス]の HTTP サーバーポートと同じ値を指定してください。
- ② Microsoft Edge(バージョン 94.0.992.50 以降)を使用してください。
- ③ システム設計を見直してください。

画面の一部が見えなくなる

- 原因 画面表示が大きくなっています。
- 対応 Microsoft Edge の拡大倍率を 100%に設定してください。

フリッカレスに設定していても蛍光灯照明のちらつき(フリッカー)が見えてしまう

- 原因 アイリス制御や AGC の設定が撮影環境に適した設定になっていない。
- 対応 撮影環境に合わせて、アイリス制御や AGC の設定を調整してください。

ワンブッシュ AF でフォーカスが合わない

- 原因 ① フォーカスの合いやすい被写体が複数存在する。
- ② 撮影環境が暗いとフォーカスの収束に時間がかかり、ワンブッシュ AF がタイムアウトしている。
- 対応 ① フォーカスモードをマニュアルにして、注視したい被写体にフォーカスを合わせてください。
- ② AGC を小さく設定するとワンブッシュ AF が速やかに完了する場合があります。

映像表示が滑らかではない

- 原因 ① CPU やメモリーの負荷変動、ネットワークのジッターなどの要因によって、本機からの映像が滑らかに見えな場合があります。また、SD カードの記録中は、配信能力が低下する場合があります。
- ② マルチディスプレイ環境でお使いの場合に、映像が滑らかに見えない場合があります。
- 対応 ① ビューワーの[設定] - [カメラ] - [エンコード]より[フレームレート]、[ビットレート]もしくは[画質]を下げて映像を確認してください。
- ② このようなときは、シングルディスプレイでご使用ください。

SD カードに記録した映像のフレームレートが設定より少ない、または変動する

- 原因 電子感度アップ機能がはたらくと、感度を上げるために SD カードに記録される映像のフレームレートが減少します。そのため、再生コマ数が少なくなったり、変動したりすることがあります。
- 対応 [カメラ] - [露光設定] - [感度アップ]を低い倍率に設定してください。

本機の IP アドレスがわからない

- 原因 設定した IP アドレスを忘れてしまった。DHCP サーバーから割り当てられた IP アドレスがわからない。
- 対応 UPnP を使用してエクスプローラーで検索してください。または、同じ LAN に設定されているパソコンからであれば、“JVC カメラ IP 設定ツール(Version 2.1 以降)”を使用して検索してください。

その他

本機の設定ページを開覧できない

原因 operator 権限または user 権限でログインしている。

対応 admin 権限でログインしてください。

設定に対して、表示される映像のビットレートが低い

原因 フレームレートの数値が高い。

対応 [フレームレート]によっては、設定したビットレートを大きく下回る場合があります。

3次元ノイズリダクションを使用すると残像が生じる

原因 -

対応 3次元ノイズリダクション使用時は、原理上、動きのある被写体で残像が生じることがありますが、故障ではありません。

外部マイク音声がかえらない

原因 ① 外部マイクが正常に接続されていない。
② カメラの音量設定が小さすぎませんか？

対応 ① マイクが AUDIO IN 端子に接続されていることを確認してください。
② [システム] - [音声]のカメラのマイクの音量設定を上げてください。

昼間なのに映像が白黒になっている

原因 ナイトモードになっている。または、[カメラ] - [露光設定] - [デイモード] - [カラーモード]が白黒になっている。

対応 デイナイト切り替え設定がナイトモードになっている、または[デイモード] - [カラーモード]が白黒になっている場合に映像が白黒になります。撮影環境に合わせて正しく設定してください。

ホワイトバランスをマニュアルでうまく調整できない

原因 OnePushAWC での調整範囲のほうが手動調整範囲よりも広いため、色味の強い特殊光源や被写体での撮影にて OnePushAWC での合わせ込みを行なったあとは、手動での微調整を行うと1段階以上の変化が起こる場合がある。

対応 色味の強い特殊光源や被写体での撮影ではホワイトバランスの微調整は行わないでください。

ビューワーの静止画保存アイコン()をクリックしたときや、録画アイコン()をクリックしたときに、ファイルがパソコンに保存されない

原因 Microsoft Edge が管理者として実行されていない。

対応 Microsoft Edge を管理者として実行してください。下記の操作にて実行できます。
① Microsoft Edge を右クリックする
② [管理者として実行]を選択する

TCP/UDP によるアラーム通知をパソコンで受信できない

原因 Windows のファイアウォールによってポートがブロックされている場合があります。

対応 使用するパソコンの Windows 環境のファイアウォールに対しては、下記操作を実行してください。

Windows10 Pro 64bit (バージョン 21H2) の場合:

- ① [コントロールパネル]を表示する
 - ② [システムとセキュリティ]を開く
 - ③ [Windows Defender ファイアウォール]を開く
 - ④ [詳細設定]メニューを開き、[受信の規則]-[新しい規則]を選択する
 - ⑤ [新規の受信の規則ウィザード]で[規則の種類]の“ポート”を選択する
 - ⑥ [プロトコルおよびポート]で“特定のローカルポート”にポート番号を入力する
 - ⑦ [操作]で“接続を許可する”を選択する
 - ⑧ [プロファイル]で適用条件を選択する
 - ⑨ [名前]で“名前”に任意の文字列で登録する
 - ⑩ [完了]をクリックし、設定を終了する
- 使用するネットワークネットに設けられたファイアウォールや上記の操作で問題を解決できない場合には、ネットワーク管理者または設置業者に相談してください。

ネットワーク障害検出が動作しない

原因 ① ネットワーク障害と同時に LAN ケーブルからの給電が停止している。
② LAN ケーブルから給電する機器がスイッチハブと通信しなくなった際に、カメラにリンクダウンを通知しない。

対応 ① AC24V でご使用ください。詳細は「取扱説明書(設置編)」をご覧ください。
② カメラにリンクダウンを通知する給電機器をご使用ください。

音声再生が正常に動作しない

原因 ① 登録した音声ファイルが破損している。
② 音声フォーマットが AAC になっている。

対応 ① 破損していない音声ファイルをご使用ください。
② 音声フォーマットを G.711 u-law に設定してください。

クライアントからカメラへ送信した音声クライアント側でも聞こえる

原因 本機、クライアントの音量設定が適切でない。

対応 クライアントのマイク入力音量を下げてください。本機の音声出力が小さくなりすぎた場合は、本機の音量(音声出力)を上げてください。

同じプリセットポジションで映像全体が見た目より暗く見える

原因 プリセットポジションの画角の中に明るい映像と暗い映像が入り込む場合に、映像全体が暗く見える現象が発生することがあります。(これは撮影画角に対して極端に明るい映像が一部に存在する場合に発生する特有の現象です。)

対応 逆光補正や WDR 機能を使用することで現象が軽減できる場合があります。

映像とぎれが発生する

原因 プリセット移動時の明るさの変化により、映像処理が間に合わない場合に数秒間の映像とぎれが発生することがあります。

対応 カメラ設定画面の[デイナイト切り替え設定]とプリセットポジションの[デイナイト]設定を共に「オート」に設定してください。

**JVCケンウッド
カスタマーサポートセンター**

固定電話  0120-2727-87

携帯電話  0570-010-114

一部のIP電話など 045-450-8950

FAX 045-450-2308

〒221-0022 神奈川県横浜市神奈川区守屋町3-12

ご相談窓口におけるお客様の個人情報は、お問合せへの対応、修理およびその確認に使用し、適切に管理を行い、お客様の同意なく個人情報を第三者に提供または開示することはありません。

株式会社 JVCケンウッド・公共産業システム

〒221-0022 神奈川県横浜市神奈川区守屋町3-12

ホームページ <https://jkpi.jvckenwood.com/>